

平成28年度 尾張旭市営バス利用状況報告書



平成29年8月
都市整備部都市計画課

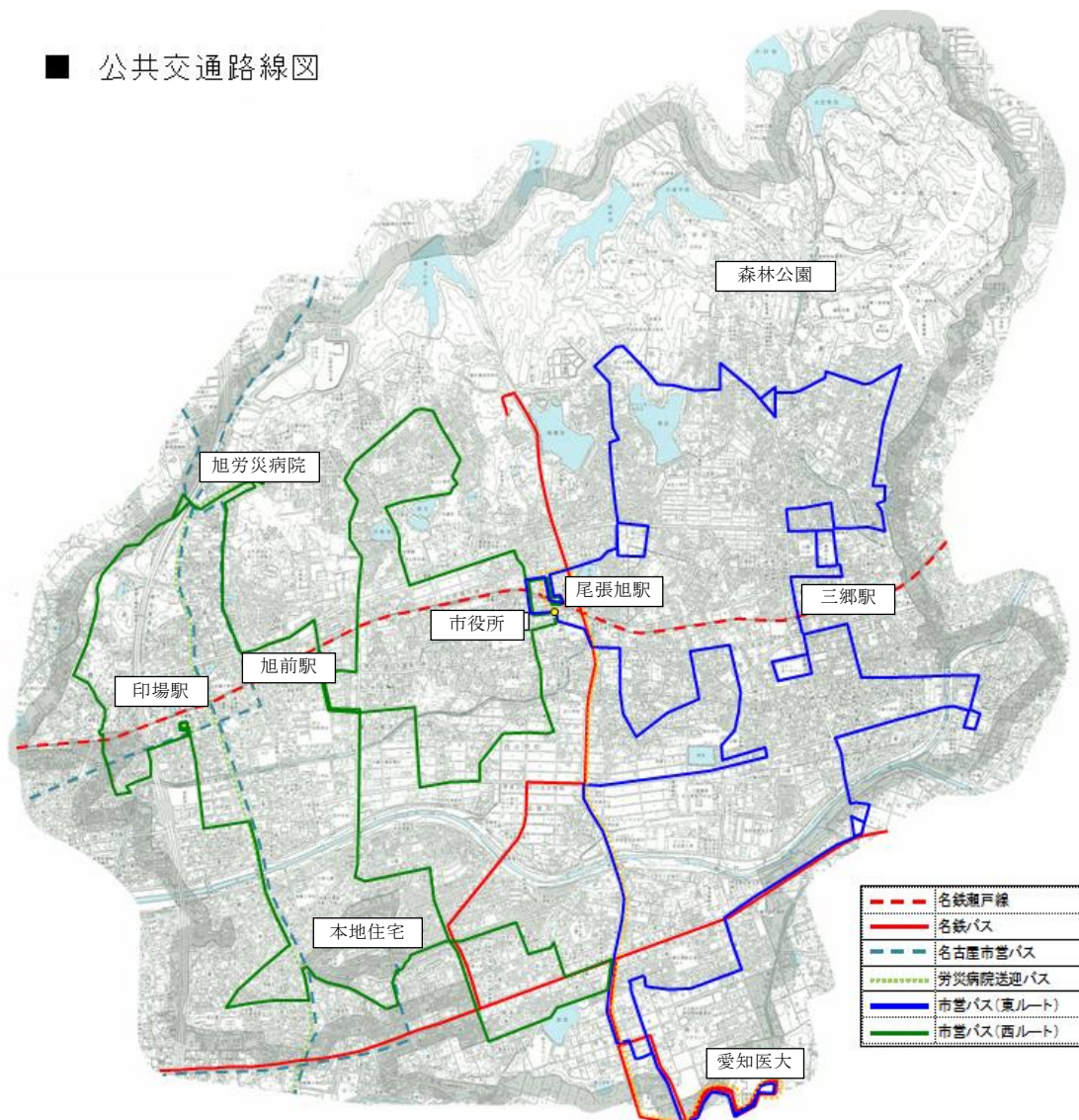
目 次

1	市営バスの概要	1
2	市営バス運行の経緯	2
(1)	試験運行開始前	2
(2)	試験運行の実施	3
(3)	本格運行の実施	3
(4)	運行見直しの検討、運行内容変更	3
3	市営バスの利用状況	5
(1)	利用者の推移及び内訳	5
(2)	ルート別利用者数の状況	6
(3)	運行便別利用者数の状況（全体）	7
(4)	運行便別利用者数の状況（ルート別）	8
(5)	停留所別利用者数の状況	11
(6)	ルート別の停留所利用の状況	20
(7)	平日第2便の平均乗車人員の状況	24
(8)	曜日別の利用者数の状況	27
4	市営バスの運行経費の状況	28
(1)	市営バスの運行経費の状況	28
(2)	近隣市町のコミュニティバス運行経費等の状況	29
5	市営バス運行に対する市民意識	31
	平成28年度利用者アンケート調査集計結果	34

1 市営バスの概要（～H29.3.31）

- 本市の市営バスは、平成20年4月1日から、4ルート（西、南西、東及び南ルート）の「シャトル方式」で本格運行を開始しました。そして、同年10月1日から、西ルートと南西ルートを統合した「西ルート」、東ルートと南ルートを統合した「東ルート」の2ルートに再編し、それぞれ「右回り」及び「左回り」の「双方向ループ方式」による運行に変更しました。
- 本報告書は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの、1年間の西ルート（マイクロバス3台 定員22人）及び東ルート（マイクロバス3台 定員26人）の利用者数を集計したものです。
- 利用料金は、1回100円で、小学校未就学児並びに障がい者（児）本人及びその付添い人1人は無料としています。また、11枚綴り1,000円の回数乗車券及び1か月3,000円の定期乗車券があります。
- 運行日は、年末年始（12月29日から1月3日まで）を除く毎日としています。また、平日は運行時間を8時10分から19時10分までとし、1日9便、休日（土日祝日）は運行時間を9時20分から17時20分までとし、1日5便を運行しています。
- 運行距離は、西ルートが24.5km、東ルートが24.4kmとしています。

■ 公共交通路線図



2 市営バス運行の経緯

(1) 試験運行開始前

ア 平成15年度以前

▽ 平成10年度

市議会定例会において、多数の会派から巡回バスについて質問。

▽ 平成11年度

巡回バス実現に係る18,000人余りの署名が、「だれでも乗れる市内巡回バスの早期実現と高齢者・障害者への交通助成費を求める陳情書」として提出。

▽ 平成12年度

交通問題対策特別委員会の設置。

イ 平成15年度

▽ 本市における生活交通のあり方を検討するものとして、学識経験者や市民の代表、公募委員からなる「尾張旭市交通問題対策協議会」を開催。

▽ 協議会では、地域交通に係る勉強会や他自治体の事例の視察、公共交通移動実態調査の検証等を実施。

▽ 協議会からの主な提言

・市内には、公共交通に恵まれた地域もあるが、一方では移動に制約を受ける交通空白地もある。このため、まずは公共交通のサービス水準が相対的に低い地域を対象として、市による新たな交通手段の確保を図ること。

・可能な限り早期に、市による新たな交通手段を具体化するため、まずは試験運行の実現のための検討組織の設置や必要な予算措置などを行うことと合わせ、真に市民の利活用があるかデータを収集すること。

・新たな交通手段によるサービスの維持などは、市民の利用の状況に大きく左右されることであり、それを利用し、守り育てていくことは市民の責任でもあることを訴えること。

・通勤通学者を考えると、運行時間が早朝から夜までになり、運行経費もかかる。まず、第1歩を始めることが重要という観点から、「元気で歩けるお年寄り」などを対象に、1人で活動可能な人の交通手段を考えること。

ウ 平成16年度

▽ 提言に基づき、試験運行の仕組みを構築する組織として、「尾張旭市交通問題懇話会」を開催。

▽ 懇話会では、平成15年度に行った公共交通移動実態調査の結果に基づき、ルート設定や使用車両の検討を実施。また、既存のバス停及び鉄道駅から500メートル圏外を「市内の交通空白地」と定義し、その解消を目指すことを確認。

(2) 試験運行の実施

ア 平成16年12月1日～平成17年7月31日

料金を1回100円として、9人乗りワゴン車3台で、西ルート、東ルート及び南ルートの3ルートの試験運行を開始。なお、満車時においては箱型タクシーにて対応。

その結果、南ルートの利用状況が少なく、更なる利用増進が課題となった。

イ 平成17年8月1日～平成18年8月6日

主に南ルートを増強し、愛知医大及び本地ヶ原住宅に停留所を設置。その結果、乗り継ぎ利用者の増加と、これに伴う積み残し対応タクシーの増加が発生。さらに、運行頻度の充実に対する要望や、未運行地域からの要望も増加。

ウ 平成18年8月7日～平成20年3月31日

ルートの見直しを行い、3ルートから4ルートに拡充（南西ルートを新たに増設）。

また、平成19年12月5日からは、西ルート、東ルートにマイクロバスを導入。これに合わせ、車両デザインを市民公募するとともに、愛称を「あさぴ一号」とした。なお、南ルート及び南西ルートについては、引き続き9人乗りワゴン車にて対応。

(3) 本格運行の実施

ア 平成20年4月1日～9月30日

指定管理者制度の導入により、本格運行を開始。併せてルートの見直しを実施するとともに、障がい者本人の運賃を無料化。

また、南ルート、南西ルートに指定管理者所有のマイクロバスを導入。

イ 平成20年10月1日～

西ルートと南西ルートを統合して「西ルート」、東ルートと南ルートを統合して「東ルート」とし、「シャトル方式」の運行を、2ルート4台の車両で運行する「双方向ループ方式」に変更。

また、平成20年11月27日からは、南ルートと南西ルートで使用していた指定管理者所有の車両を、市所有のマイクロバスに変更し、4台の車両のデザインを統一。

ウ 平成24年4月1日～

名鉄瀬戸線旭前駅の駅前広場整備に伴い、西ルートを一部変更し、名鉄瀬戸線北側から旭前駅へ乗り入れを実施。

(4) 運行見直しの検討、運行内容変更

ア 平成26年4月1日～平成27年3月31日

市営バスをとりまく環境の変化、市民からの新たな要望（運行頻度の向上や日祝日運行等）及び車両の老朽化を踏まえ、運行見直しの検討を実施。

その結果、市営バスが市民生活における重要な移動手段として定着していることから、現行の運行ルートを基本とした見直しを行うこととした。

イ 平成27年4月1日～平成28年3月31日

平成26年度の検討結果を踏まえた、新たな運行ルート及び停留所位置を検討し、それに基づく運行ダイヤ及び運行経費を検討。また、利便性向上によるバス利用促進を図るため、定期券等の導入を検討。

ウ 平成28年4月1日～平成28年12月28日

運行見直しの検討結果を踏まえ、運行内容を次のとおり変更。

▽ 運行日：新たに日曜日、祝日を運行(運休日：年末年始(12/29～1/3)のみ)

▽ 運行本数：平日は1日9便、休日(土日祝日)は5便

- ・ 平日：運行間隔は60分に1本、8時15分～19時05分
- ・ 休日：運行間隔は100分に1本、9時20分～17時20分

▽ 運賃 運賃や回数乗車券はそのままに、新たに定期乗車券を導入

- ・ 定期乗車券：1か月3,000円

▽ 主な新規乗入れ先

- ・ 西ルート：本地住宅(名古屋市営バスターミナル内に移設)
愛知医大(停留所は東ルートと共通)
- ・ 東ルート：森林公園(園内に停留所を新設)
多世代交流館(交流館近くに停留所を新設)

▽ 運行距離

- ・ 西ルート：24.5km 東ルート：24.4km

▽ 車両

車両を増車し、西ルート3台、東ルート3台 計6台で運行

- ・ 購入する車両(4台)は現行と同車種で、デザインを一新

エ 平成29年1月4日～

運行内容見直し後、平日ダイヤの遅延運行が頻発し、利用者からの問合せや苦情が多発したことから、遅延調査を実施。遅延の実態を把握したうえで、その実態に即し、平日においては、運行間隔を「60分に1本、8時15分～19時05分から「60～70分程度に1本、8時10分～19時10分」とするようダイヤ改正を実施。

その結果、平日に遅延運行が9割減少し、利用者からの問い合わせも減少。

3 市営バスの利用状況

(1) 利用者の推移及び内訳

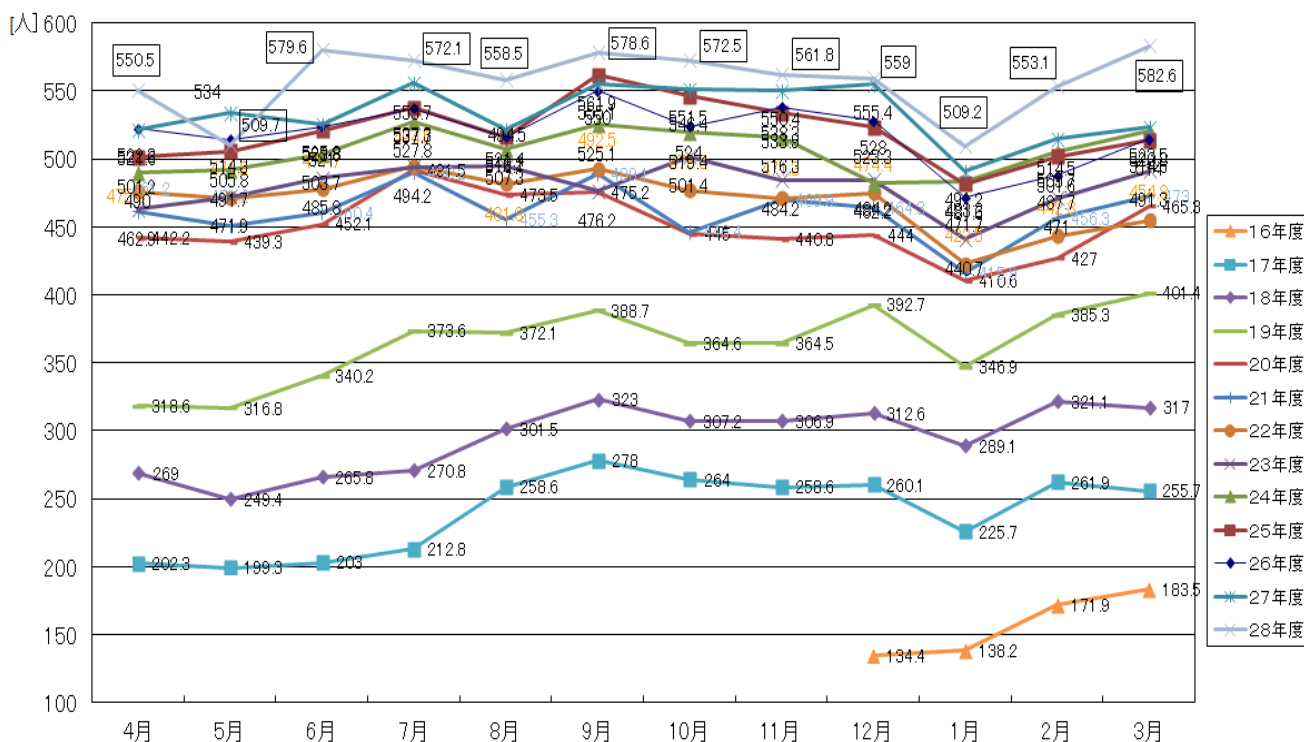
○ 年間利用者数の推移

単位：人

	年間利用者数	1日あたり平均利用者数	有料利用者	無料利用者		
				未就学	障がい者	介助者
平成16年度	14,995	157.8	14,409	478	—	108
平成17年度	70,540	239.9	67,498	2,682	—	360
平成18年度	86,793	294.2	84,064	2,492	—	237
平成19年度	107,263	363.6	103,214	3,739	—	310
平成20年度	132,653	451.2	119,918	4,320	7,703	712
平成21年度	135,625	461.3	118,363	3,288	12,813	1,161
平成22年度	138,273	470.3	119,080	2,718	15,205	1,270
平成23年度	141,731	480.4	118,025	2,993	18,888	1,825
平成24年度	148,868	506.4	122,785	3,464	20,616	2,003
平成25年度	153,553	520.5	124,102	3,015	24,562	1,874
平成26年度	152,693	519.4	120,949	3,319	26,496	1,929
平成27年度	157,319	533.3	124,670	4,043	26,569	2,037
平成28年度	200,168	557.6	162,040	4,436	30,192	3,500

- ※ 16年度は12月からの4か月間（3ルート、ジャンボタクシーでの運行）
- ※ 18年度は8月から4ルートでの運行、マイクロバスでの無償運行等を実施
- ※ 19年度は12月から2台をマイクロバスに変えて運行
- ※ 20年度は10月から2ルート「双方向ループ方式」に変更して運行
- ※ 28年度から運行内容変更（運行頻度向上、日祝日運行、定期乗車券導入、2台増車して6台で運行）

○ 1日あたり平均利用者数の推移



(2) ルート別利用者数の状況

冬季（12～2月）の間は、例年と同様に他の月と比べ、気温等を要因とする自然減と思われる利用者数の落ち込みがあります。夏季（6～8月）から秋季（9～11月）にかけて利用者が多い状況が続きましたが、1日あたりの平均利用者数が最も多い月は3月でした。1月のダイヤ改正による遅延解消及び運行内容変更が利用者に認知されたことによるものと考えられます。

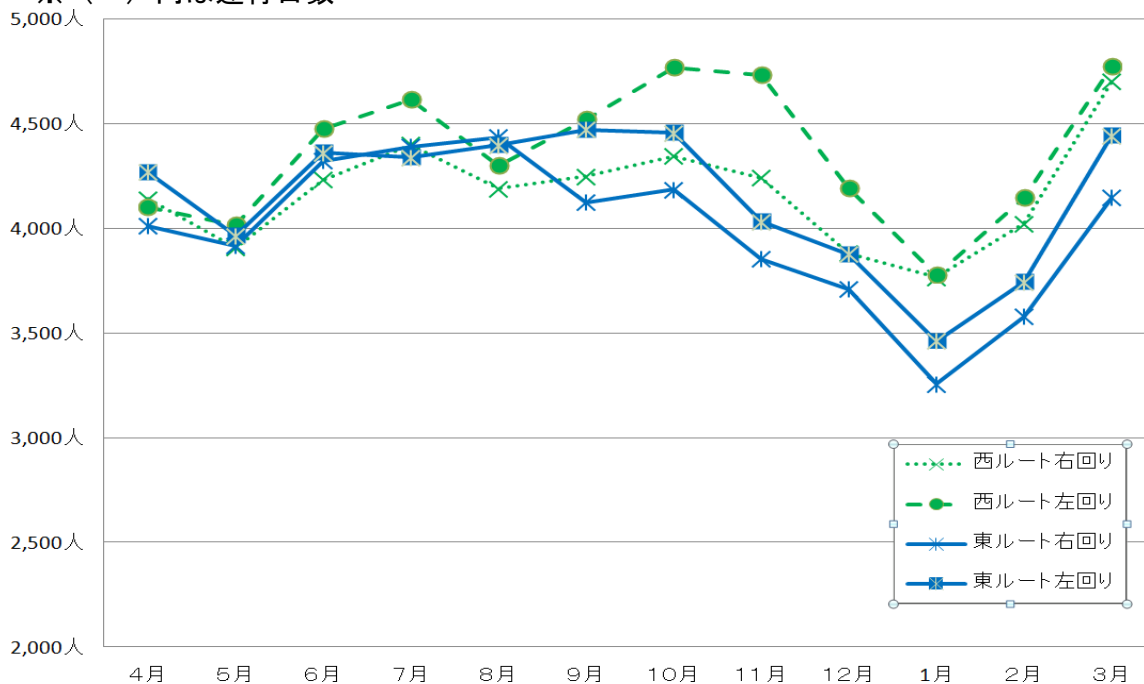
路線別で見ますと、各月の利用者数増減は同じような傾向があり、ゴールデンウィーク期間のある5月及び気温が下がる1月について利用が減少しています。ルート別では、新たに愛知医大への乗入れを行った西ルートでの利用者数が伸びており、特に11月以降は東ルートの利用者数を上回っています。

○ 路線別利用者数

単位：人

	西ルート			東ルート			合計	1日あたり 平均利用者数
	右回り	左回り	小計	右回り	左回り	小計		
4月(30日間)	4,139	4,099	8,238	4,009	4,267	8,276	16,514	550.5
5月(31日間)	3,906	4,015	7,921	3,915	3,964	7,879	15,800	509.7
6月(30日間)	4,232	4,475	8,707	4,322	4,359	8,681	17,388	579.6
7月(31日間)	4,397	4,611	9,008	4,389	4,337	8,726	17,734	572.1
8月(31日間)	4,189	4,296	8,485	4,433	4,395	8,828	17,313	558.5
9月(30日間)	4,247	4,517	8,764	4,124	4,471	8,595	17,359	578.6
10月(31日間)	4,344	4,766	9,110	4,183	4,456	8,639	17,749	572.5
11月(30日間)	4,241	4,730	8,971	3,853	4,030	7,883	16,854	561.8
12月(28日間)	3,879	4,190	8,069	3,709	3,875	7,584	15,653	559.0
1月(28日間)	3,765	3,777	7,542	3,255	3,461	6,716	14,258	509.2
2月(28日間)	4,022	4,143	8,165	3,578	3,743	7,321	15,486	553.1
3月(31日間)	4,700	4,773	9,473	4,145	4,442	8,587	18,060	582.6
合計(359日間)	50,061	52,392	102,453	47,915	49,800	97,715	200,168	557.6

※（ ）内は運行日数

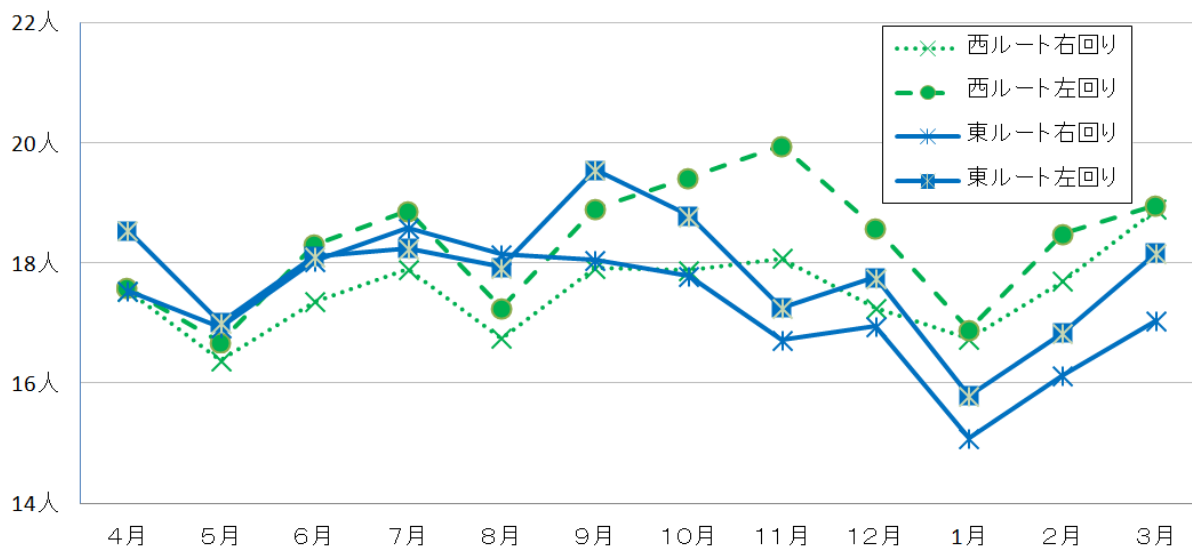


○ 1便あたりの平均利用者数

単位：人

	西ルート		東ルート		平成28年度 (全体)	平成27年度 (全体)
	右回り	左回り	右回り	左回り		
4月	17.5	17.6	17.5	18.5	17.8	21.7
5月	16.4	16.7	16.9	17.0	16.7	22.3
6月	17.4	18.3	18.0	18.1	18.0	21.9
7月	17.9	18.9	18.6	18.2	18.4	23.2
8月	16.7	17.2	18.1	17.9	17.5	21.7
9月	17.9	18.9	18.0	19.6	18.6	23.1
10月	17.9	19.4	17.8	18.8	18.5	23.0
11月	18.1	20.0	16.7	17.3	18.0	22.9
12月	17.2	18.6	16.9	17.8	17.6	23.1
1月	16.7	16.9	15.1	15.8	16.1	20.5
2月	17.7	18.5	16.1	16.8	17.3	21.4
3月	18.9	19.0	17.0	18.2	18.3	21.8

※ 休日を含む。



(3) 運行便別利用者数の状況（全体）

平成28年4月から平成29年3月までの間における、西ルート及び東ルートの利用者数の運行便別の利用状況の割合は、次のとおりとなりました。

各ルートとも第1、2便の利用者数が多くなっています。

なお、第6便以降、時間帯が遅くなるにつれて利用が少なくなる状況にあります。

	西ルート		東ルート	
	右回り	左回り	右回り	左回り
第1便(8:10~8:40)	17.4%	19.5%	18.2%	14.3%
第2便(9:20~10:00)	17.3%	15.1%	18.0%	16.3%
第3便(10:30~11:00)	12.6%	14.8%	16.3%	14.5%
第4便(12:10~12:40)	12.9%	14.5%	13.3%	15.2%
第5便(12:40~13:20)	12.5%	12.9%	12.7%	12.9%
第6便(13:50~14:20)	8.6%	9.0%	7.2%	10.5%
第7便(15:00~15:30)	7.6%	6.6%	6.7%	7.6%
第8便(16:00~16:40)	7.1%	4.4%	4.6%	5.9%
第9便(17:10~17:40)	3.9%	3.2%	2.9%	2.9%

(4) 運行便別利用者数の状況（ルート別）

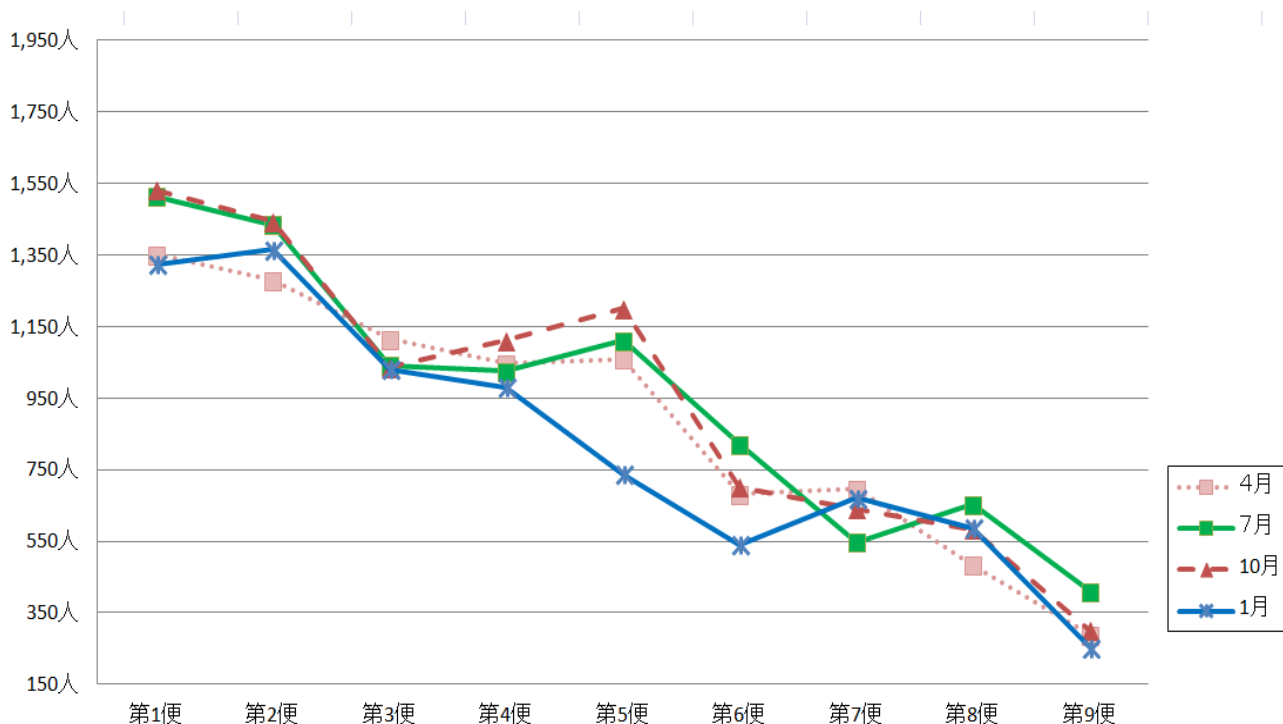
平成28年4月、7月、10月及び平成29年1月における、西ルート及び東ルートの1日当りの利用者数を運行便別にそれぞれグラフで示しました。

ア 西ルート（右回り）

西ルート（右回り）では、各月とも第1便と第2便の利用者数が最も多く、時間が遅くなるにつれ、利用者数も減少傾向にあります。

なお、利用者の多くが病院への通院、買い物、市役所など公共施設への用事などにバスを利用していることから、第1～2便は目的地に向かうため、第3～5便は帰宅のために利用していると考えられます。

○ 西ルート（右回り）運行便別利用者数

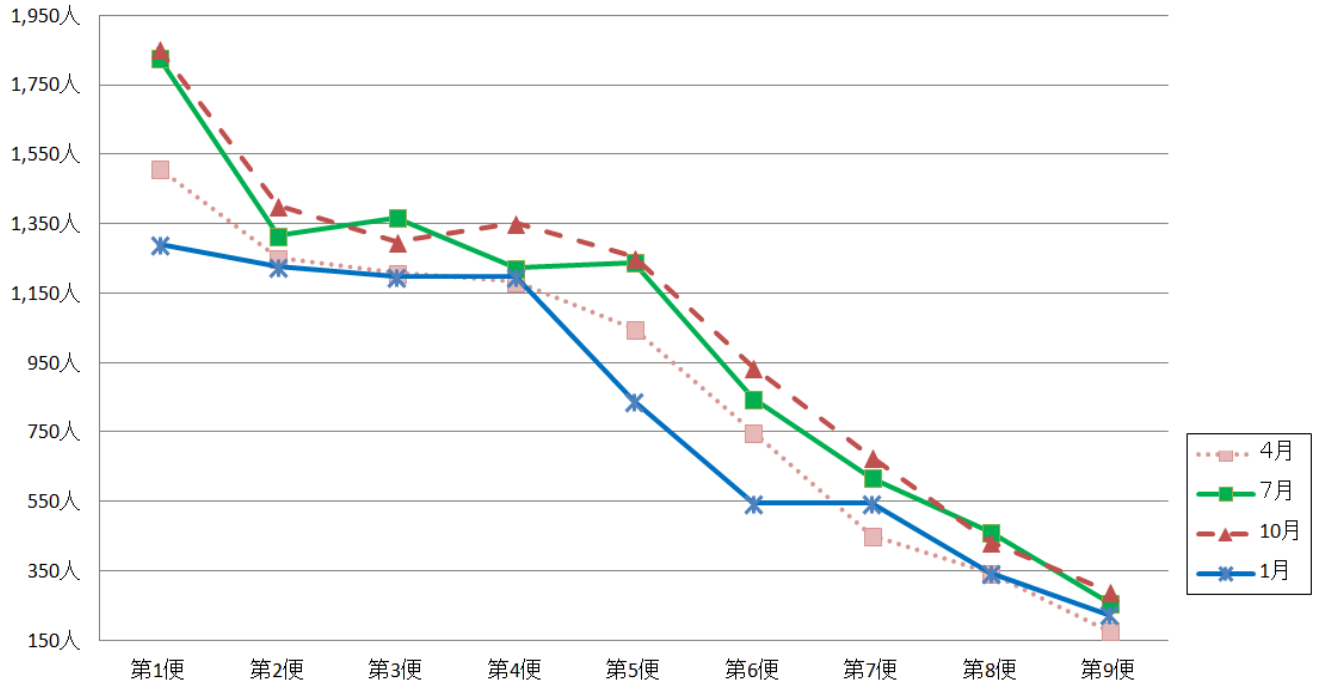


イ 西ルート（左回り）

西ルート（左回り）では、各月とも第1便の利用者数が最も多く、「右回り」と同様に、時間が遅くなるにつれ、利用者数も減少傾向にあります。

第1便の利用者数が一番多い理由として、病院への外来（旭労災病院）や商業施設の開店時間などが要因の一つであると考えられます。

○ 西ルート（左回り）運行便別利用者数

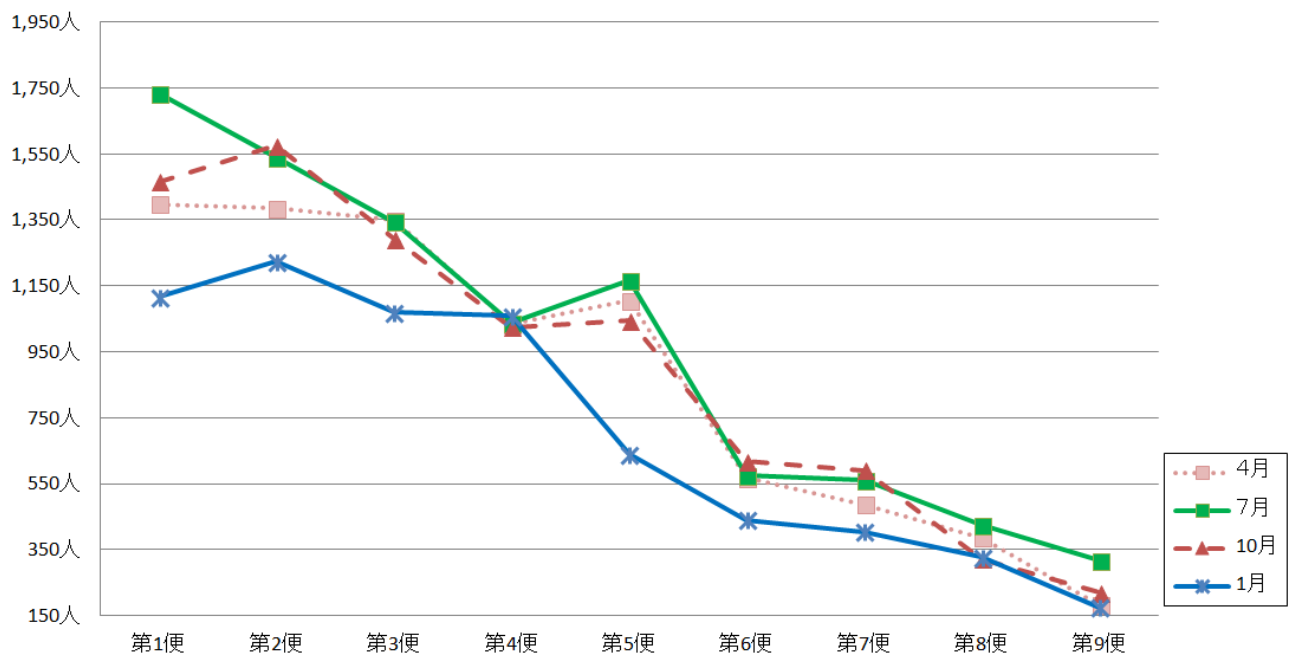


ウ 東ルート（右回り）

東ルート（右回り）では、各月とも第1便から第3便の利用者数が多い傾向が見られます。

この第1～2便では「市役所」「愛知医大」への利用に加え、「イトーヨーカドー前」の利用も多く、当停留所にあるイトーヨーカドーの利用者が多数あることが、その要因の一つであると考えられます。

○ 東ルート（右回り）運行便別利用者数

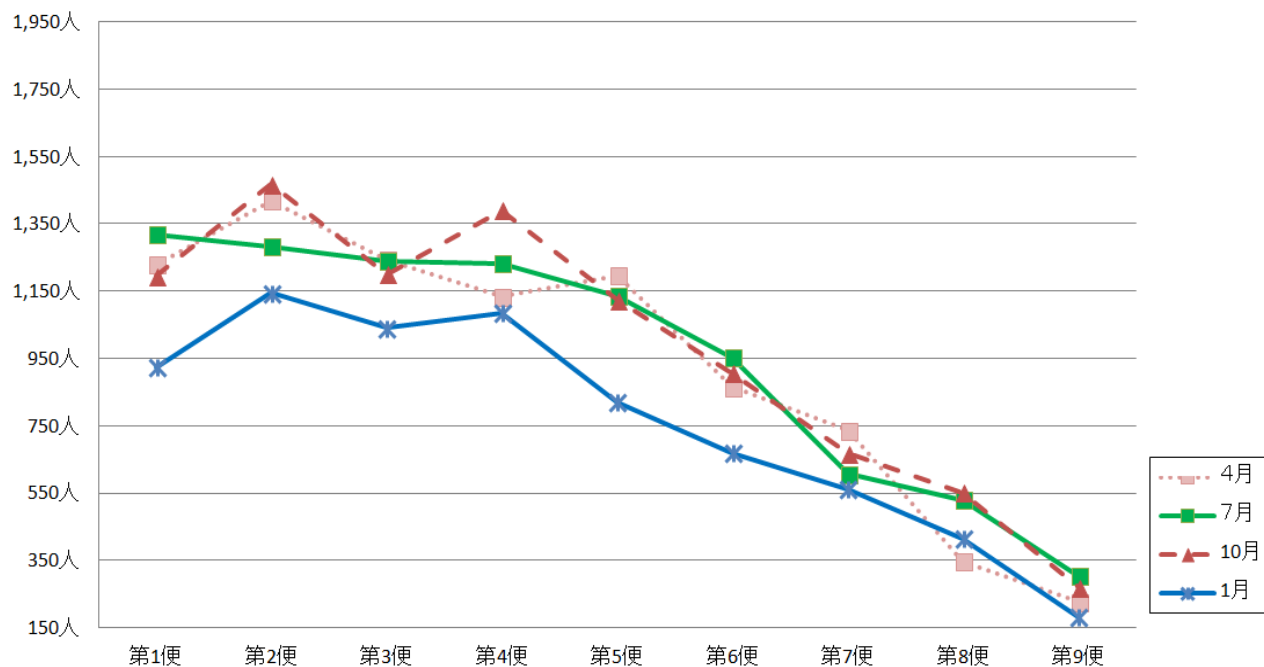


エ 東ルート（左回り）

東ルート（左回り）は、各月とも第1～4便の利用者数が多くありますが、第4便については、他のルートよりも利用が多い傾向です。

これらは、愛知医大やイトーヨーカドーにて用事を済ませて帰宅する利用者によるものと考えられます。

○ 東ルート（左回り）運行便別利用者数



(5) 停留所別利用者数の状況

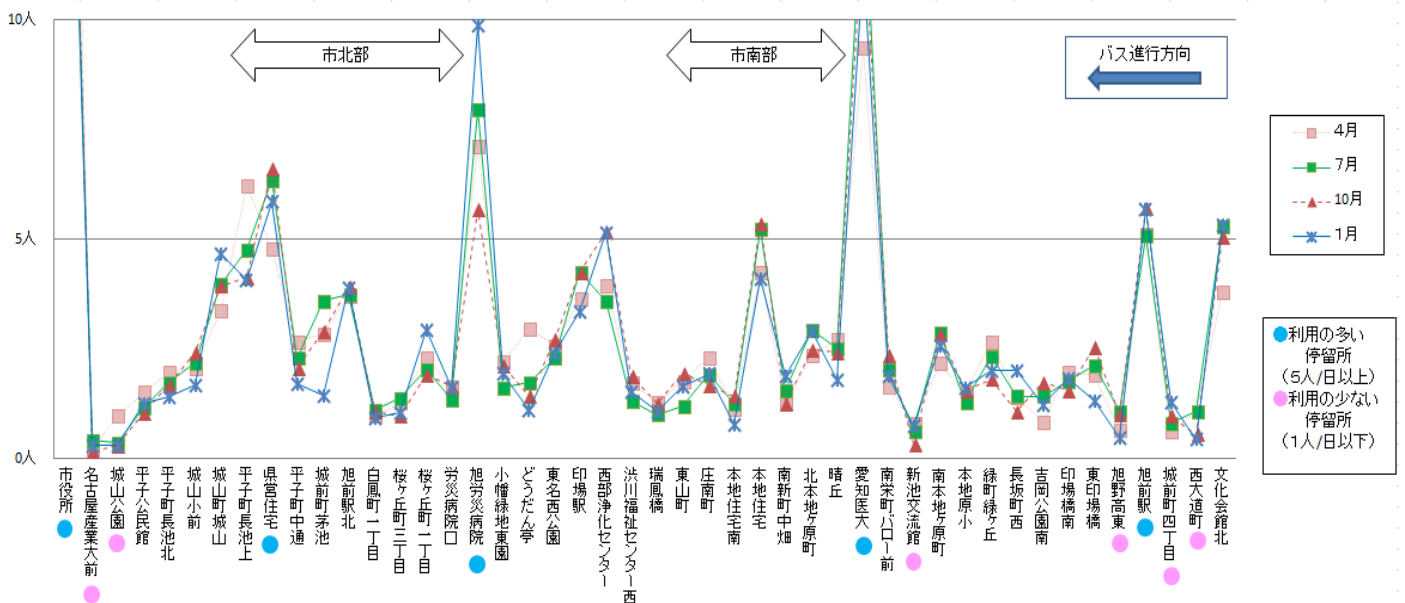
平成28年4月、7月、10月及び平成29年1月における、西ルート及び東ルートの1日あたりの利用者数を、停留所別に乗車・降車に分けて集計し、それぞれグラフで示しました。

ア 西ルート（右回り）【乗車】

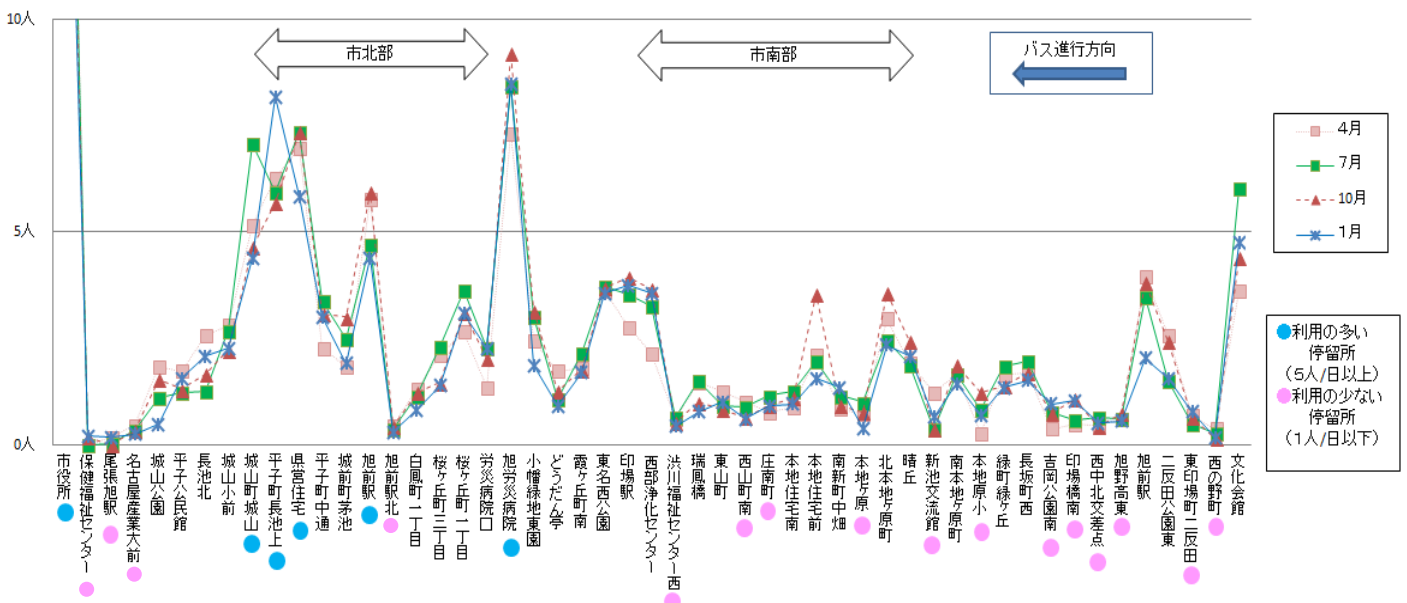
乗車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「県営住宅」「旭労災病院」「愛知医大」「旭前駅」となっており、市北部の住宅地での利用数が比較的高い傾向にあります。また、新たに乗入れた「愛知医大」の利用が特に多いです。

一方、乗車の少ない停留所（1人/日未満）は、「名古屋産業大前」「城山公園」「新池交流館」「旭野高東」「城前町四丁目」「西大道町」となっています。

月別の利用状況には、それほど大きな差異は見られませんが、市南部での利用数が少ない傾向にあります。



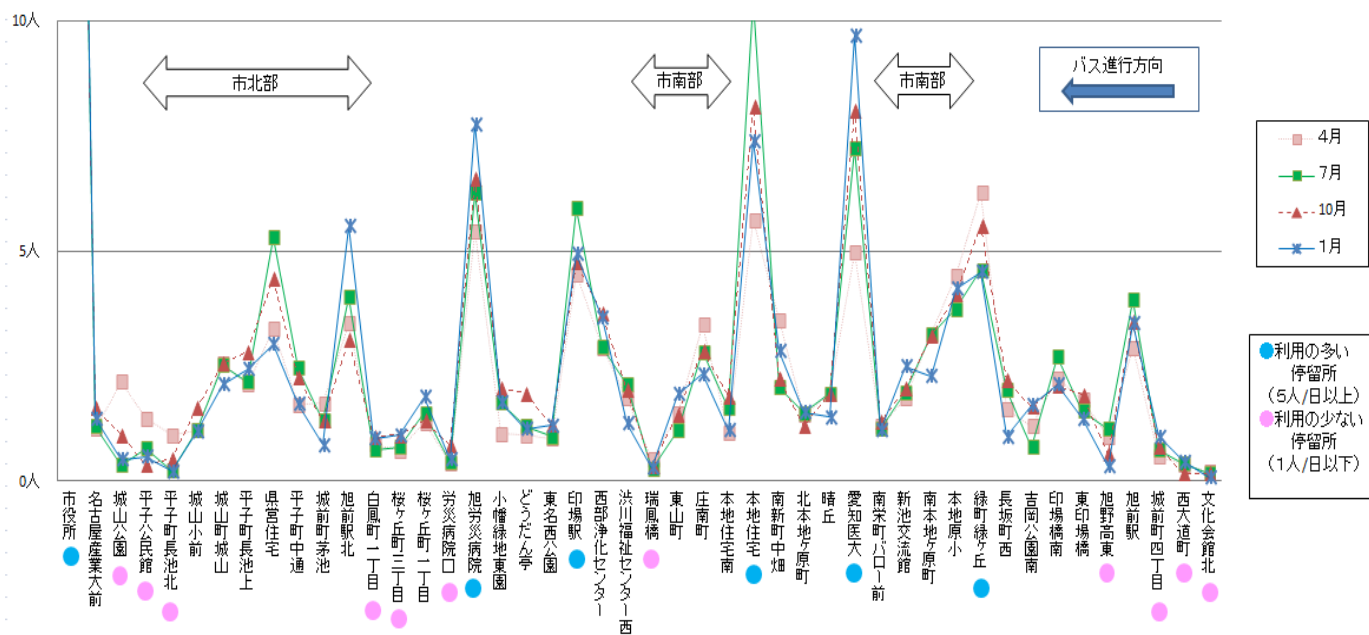
参考 平成27年度西ルート右回り利用状況【乗車】



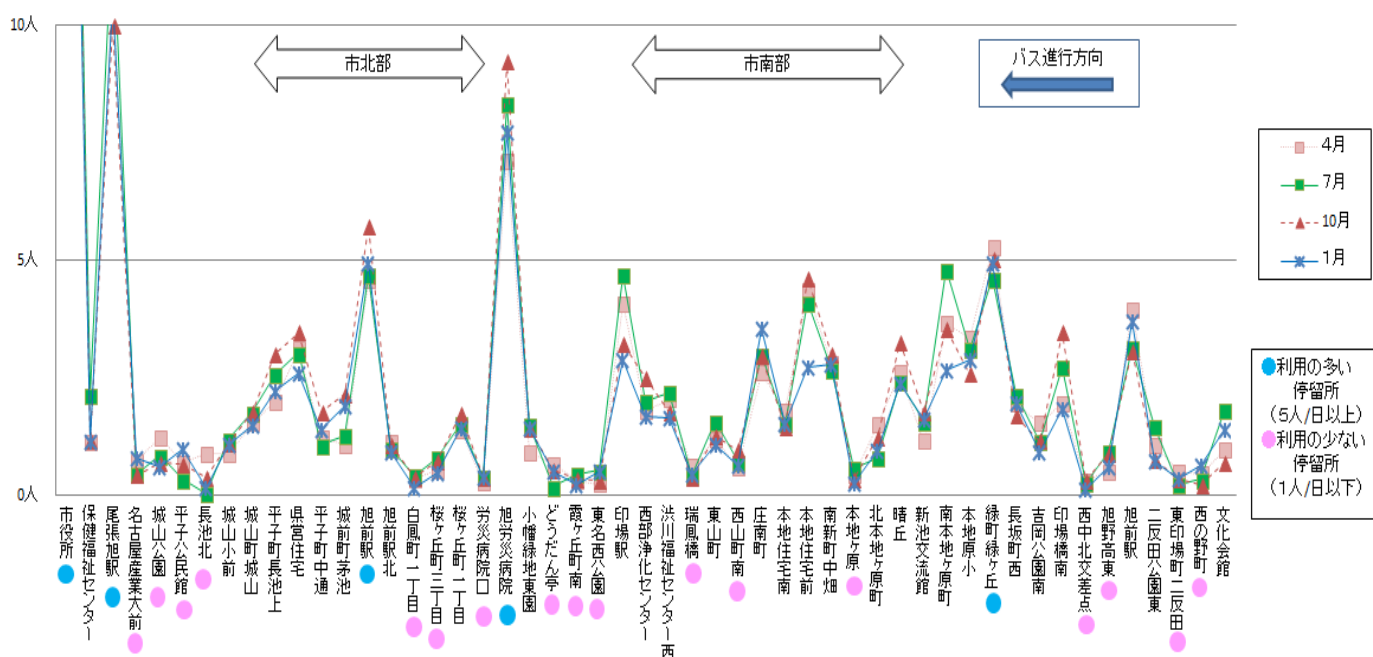
イ 西ルート（右回り）【降車】

降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「旭労災病院」「印場駅」「本地住宅」「愛知医大」「緑町緑ヶ丘」となっており、乗車と比較し、市南部での利用数が比較的高い傾向にあります。また、「市役所」「本地住宅」での降車が多く、乗り継ぎとして利用されております。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「城山公園」「平子公民館」「平子町長池北」「白鳳町一丁目」「桜ヶ丘町三丁目」「労災病院口」「瑞鳳橋」「旭野高東」「城前町四丁目」「西大道町」「文化会館北」となっており、乗車と比較し、市北部での利用数が少ない傾向にあります。



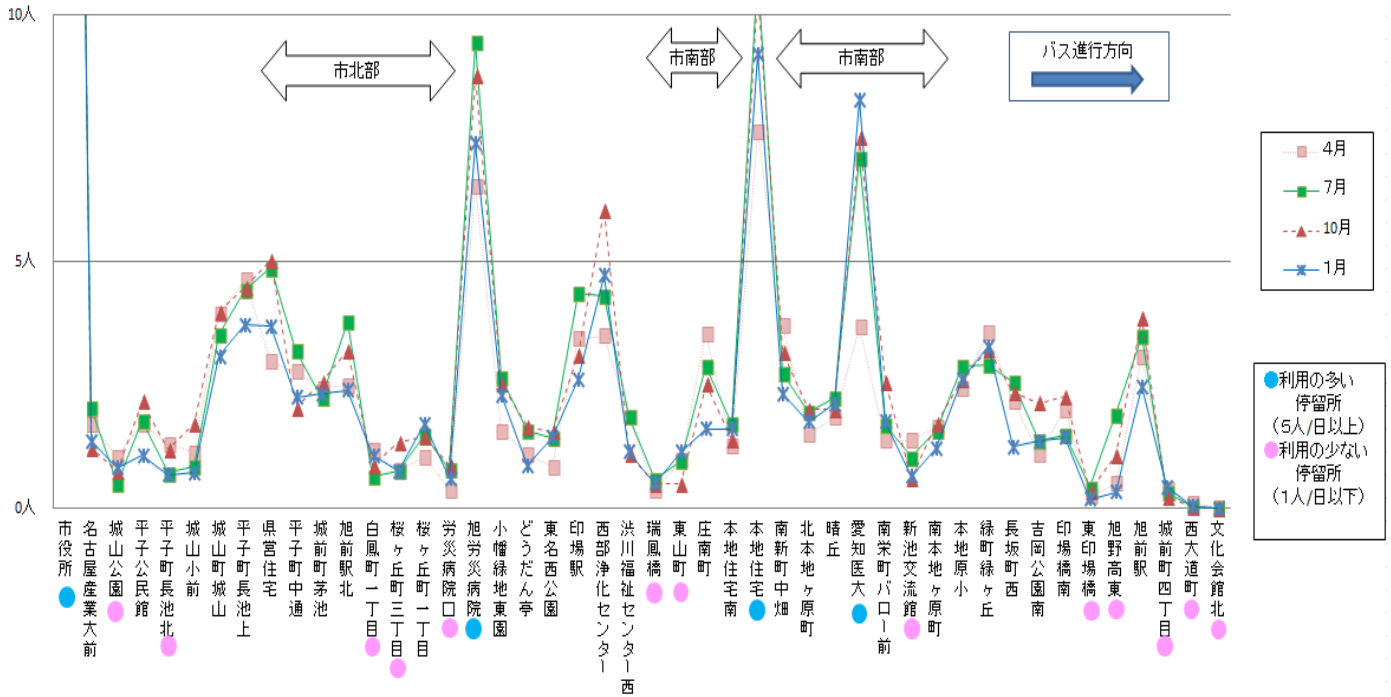
参考 平成27年度西ルート右回り利用状況【降車】



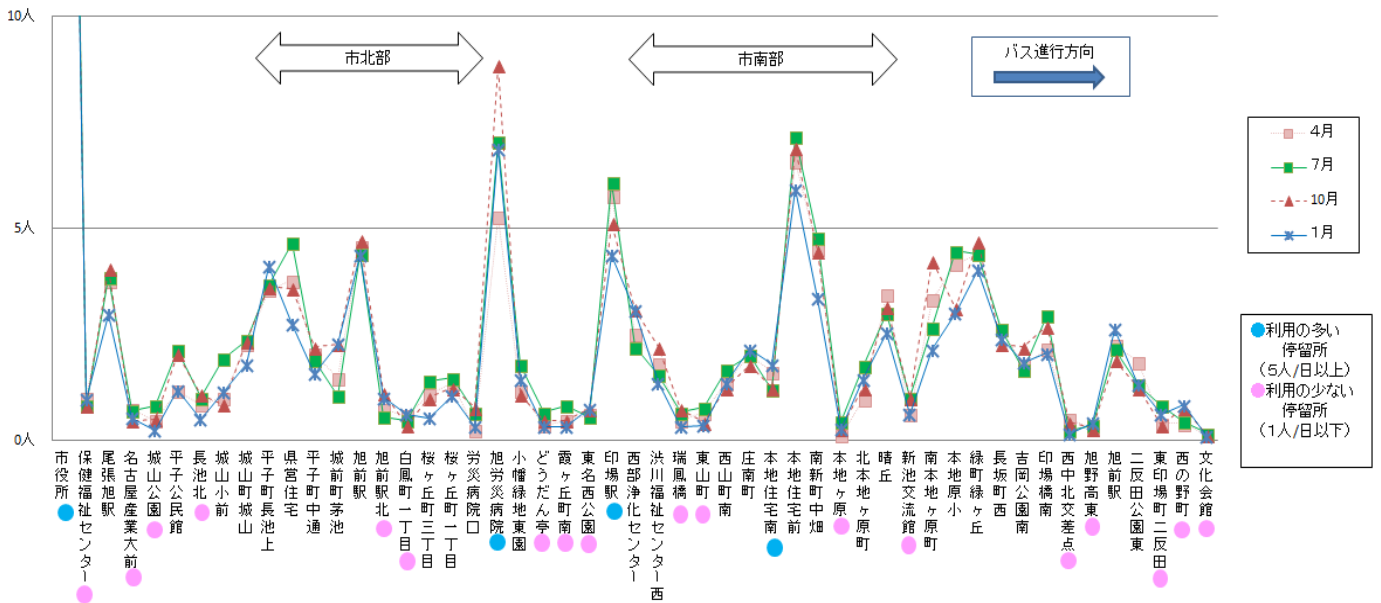
ウ 西ルート（左回り）【乗車】

乗車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「旭労災病院」「本地住宅」「愛知医大」となっており、「右回り」と比較し、市北部の住宅地での利用数がやや少なく、「本地住宅」は右回りと同様に乗り継ぎとして利用されている状況にあります。

一方、乗車の少ない停留所（1人/日未満）は、「城山公園」「平子町長池北」「白鳳町一丁目」「桜ヶ丘町三丁目」「労災病院口」「瑞鳳橋」「東山町」「新池交流館」「東印場橋」「旭野高東」「城前町四丁目」「西大道町」「文化会館北」となっています。



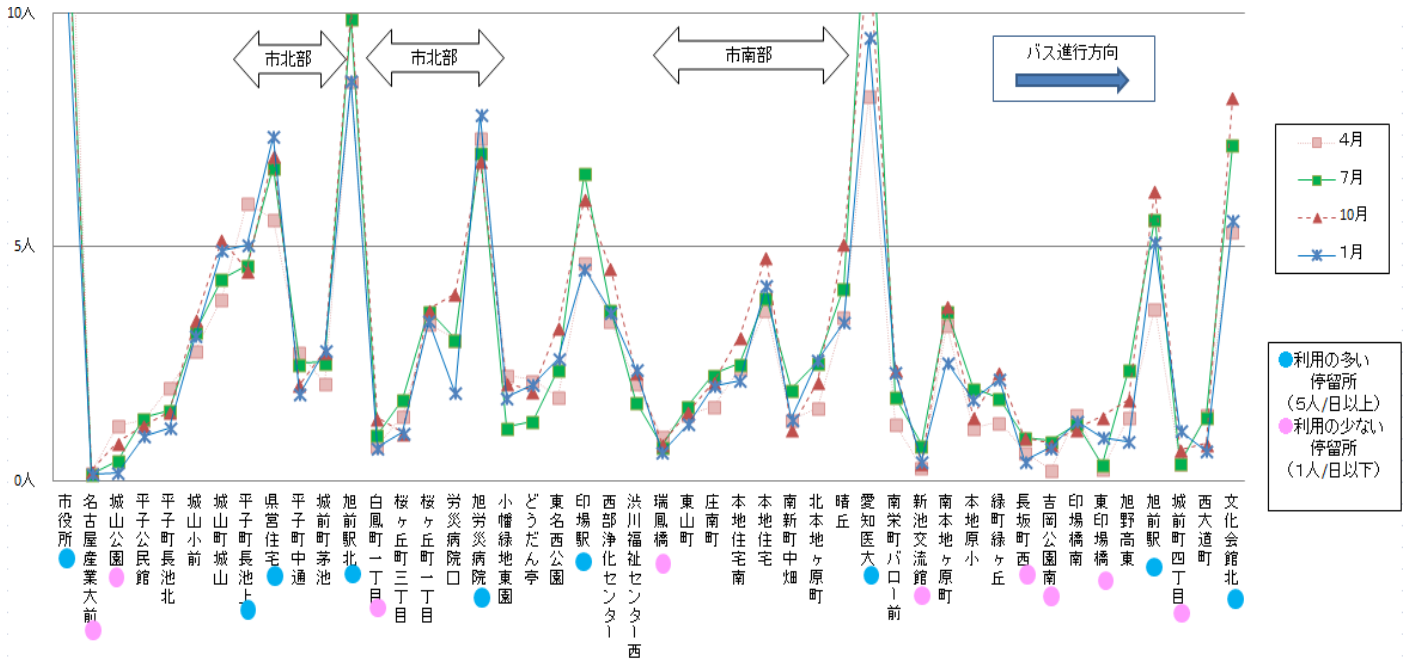
参考 平成27年度西ルート左回り利用状況【乗車】



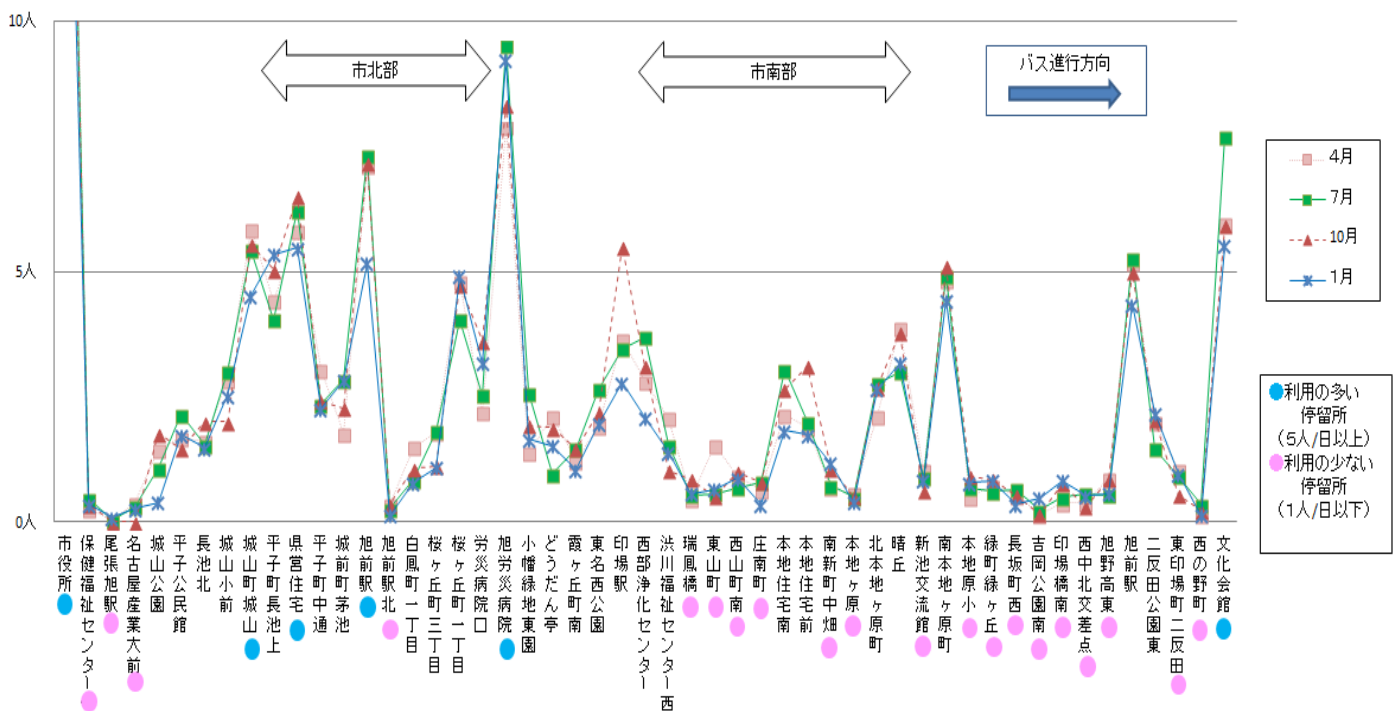
エ 西ルート（左回り）【降車】

降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「平子町長池北」「県営住宅」「旭前駅北」「旭労災病院」「印場駅」「愛知医大」「旭前駅」「文化会館北」となっており、「右回り」の「乗車」と類似した傾向が見られます。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「名古屋産業大前」「城山公園」「白鳳町一丁目」「瑞鳳橋」「新池交流館」「長坂町西」「吉岡公園南」「東印場橋」「城前町四丁目」となっています。



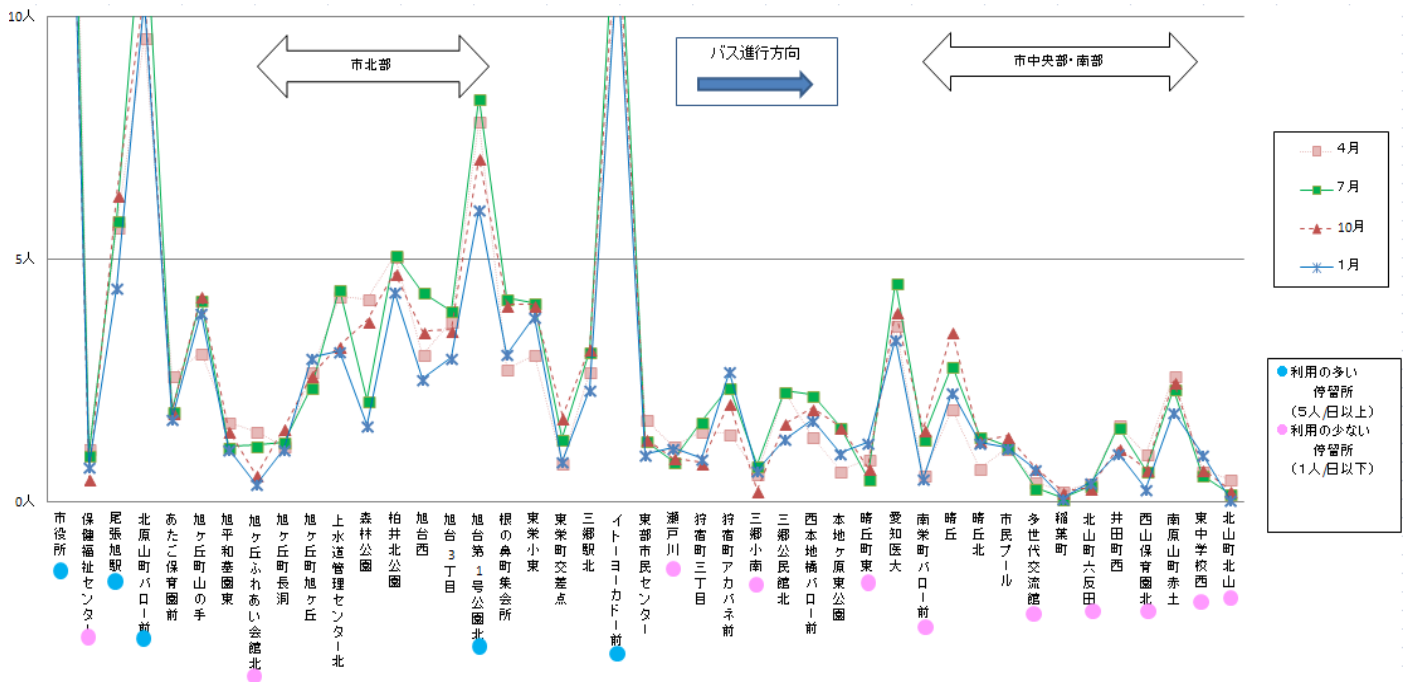
参考 平成27年度西ルート左回り利用状況【降車】



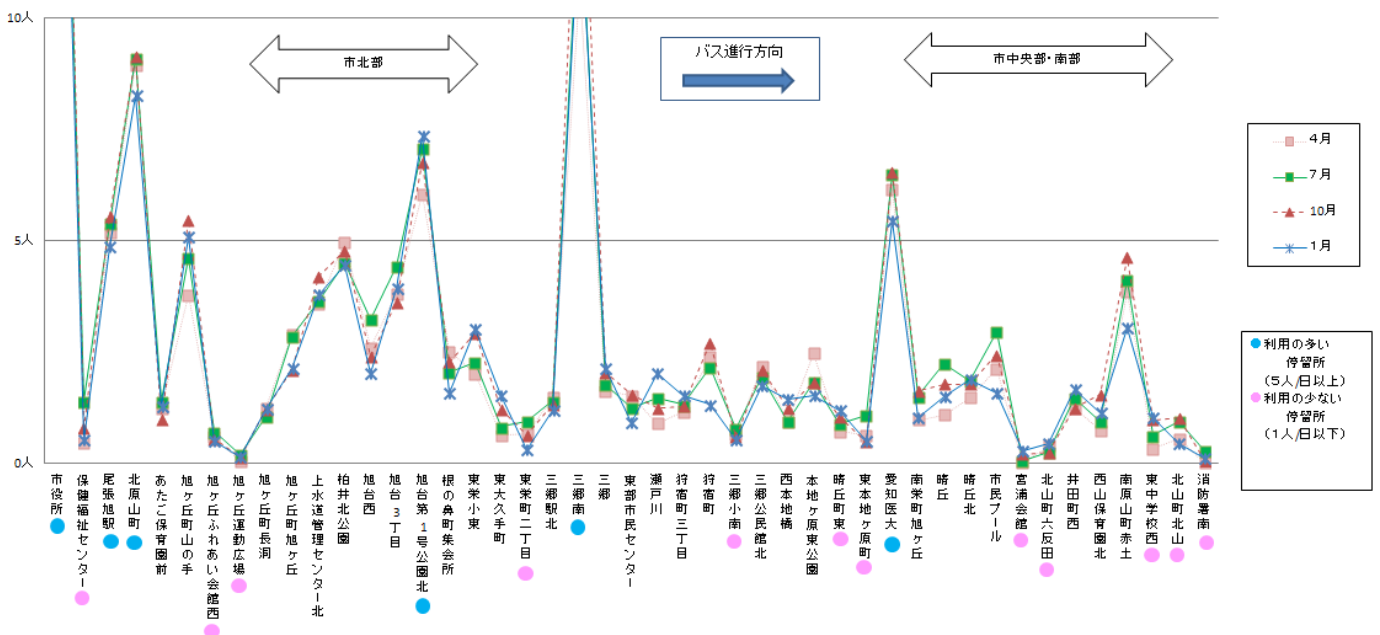
オ 東ルート（右回り）【乗車】

乗車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「尾張旭駅」「北原山町パロー前」「旭台第1号公園北」「イトーヨーカドー前」となっており、市北部の住宅地での利用数が比較的高い傾向にあります。

一方、乗車の少ない停留所（1人/日未満）は、「保健福祉センター」「旭ヶ丘ふれあい会館北」「瀬戸川」「三郷小南」「晴丘町東」「南栄町パロー前」「多世代交流館」「北山町六反田」「西山保育園北」「東中学校西」「北山町北山」となっており、市南部や中央部での利用数が少ない傾向にあります。



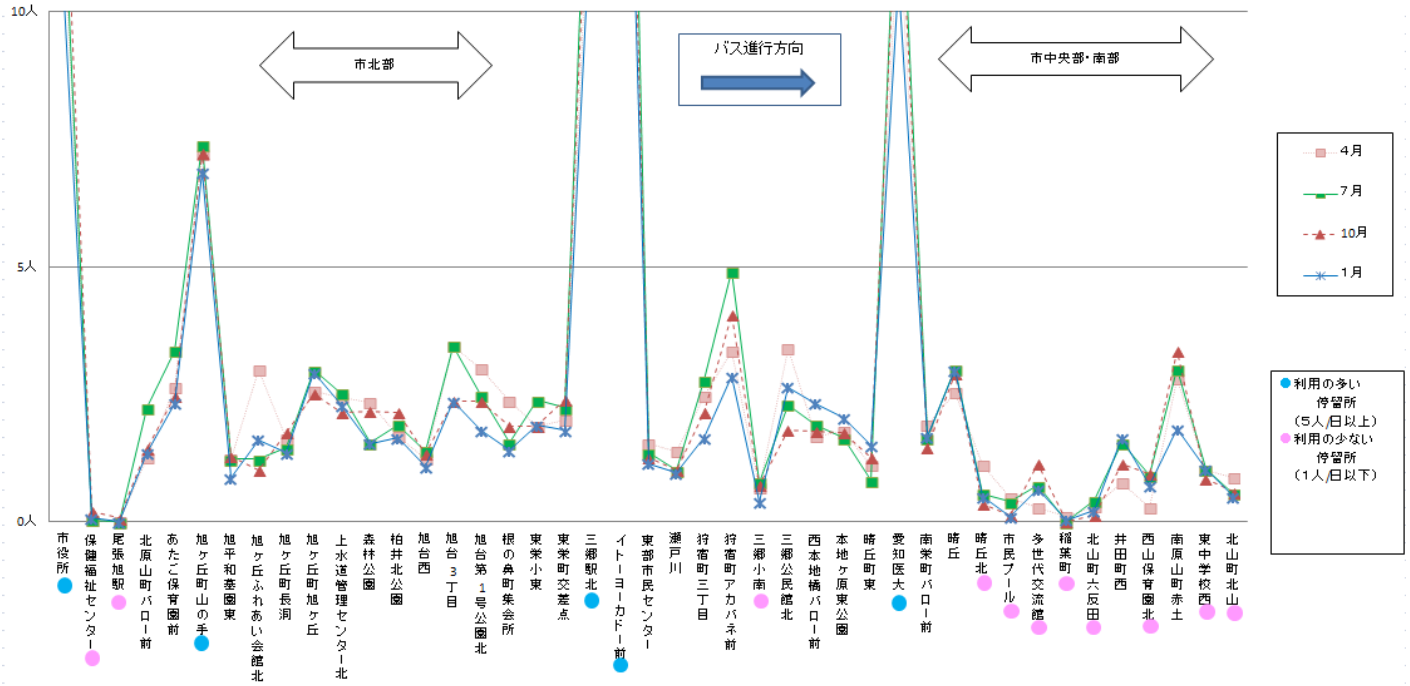
参考 平成27年度東ルート右回り利用状況【乗車】



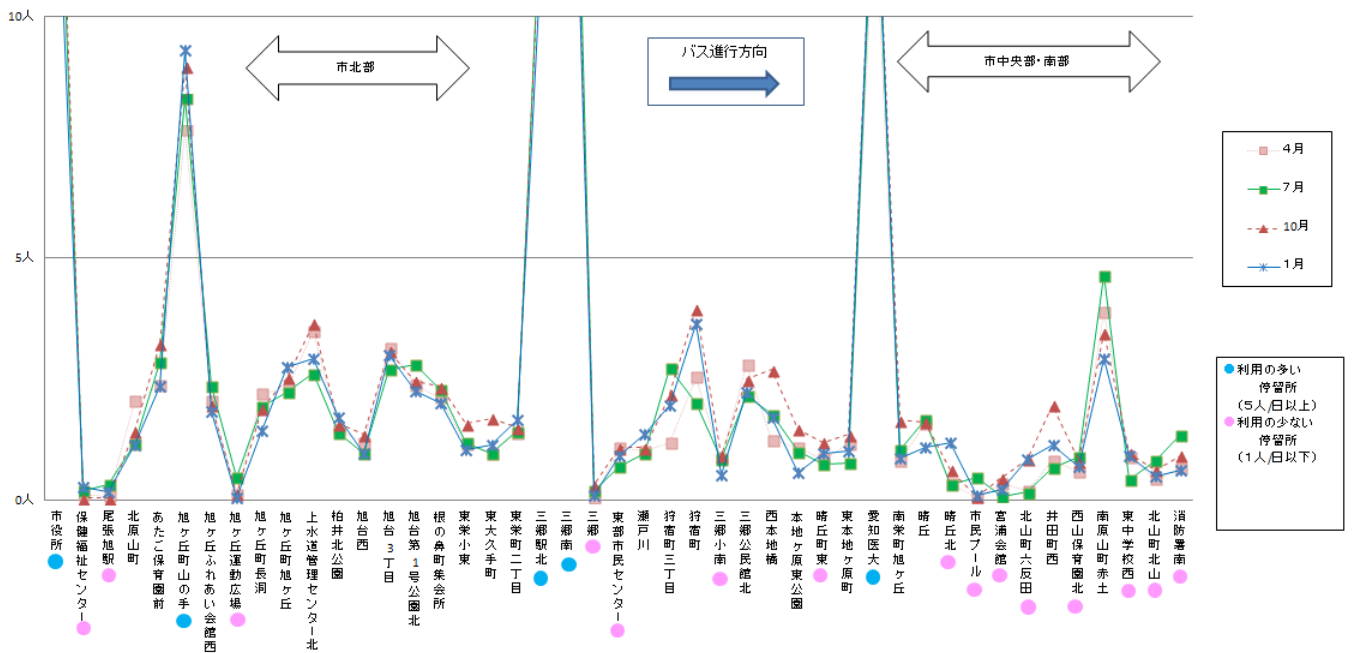
カ 東ルート（右回り）【降車】

降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「旭ヶ丘町山の手」「三郷駅北」「イトーヨーカドー前」「愛知医大」となっており、特に「イトーヨーカドー前」と三郷駅に近接する「三郷駅北」は利用が多い状況にあります。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「保健福祉センター」「尾張旭駅」「三郷小南」「晴丘北」「市民プール」「多世代交流館」「稲葉町」「北山町六反田」「西山保育園北」「東中学校西」「北山町北山」となっており、乗車と同様、市南部や中央部での利用数が少ない傾向にあります。



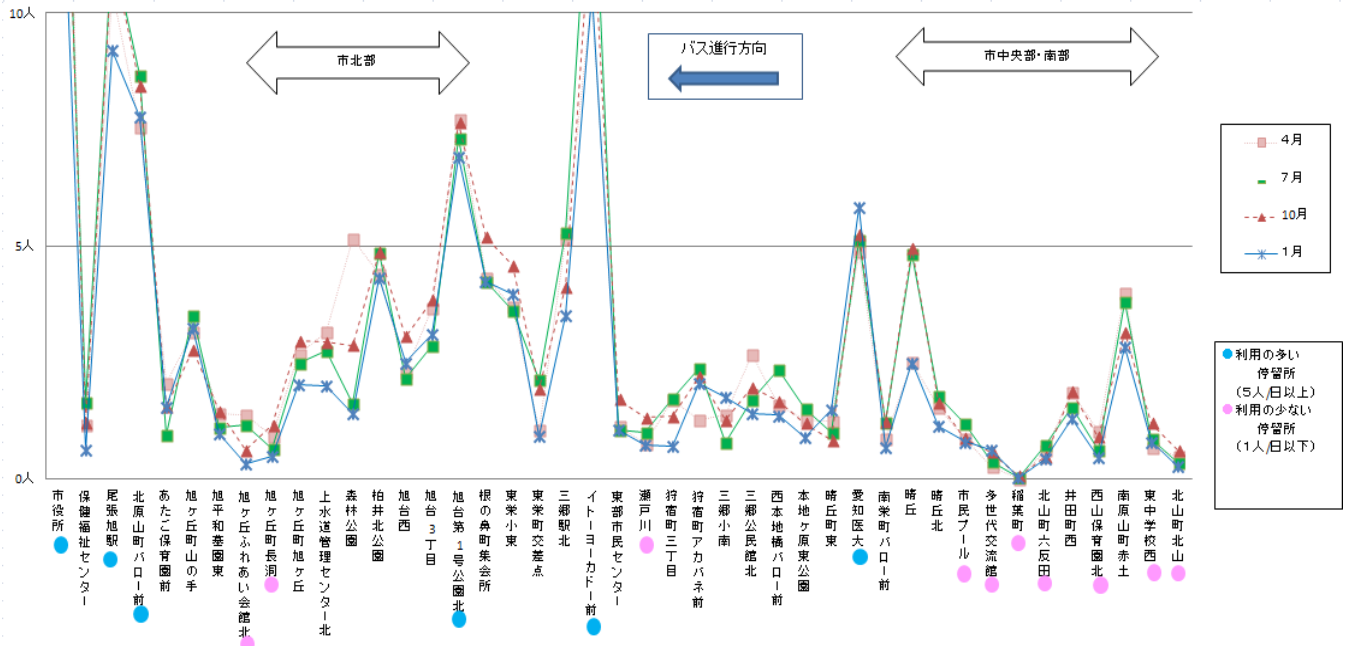
参考 平成27年度東ルート右回り利用状況【降車】



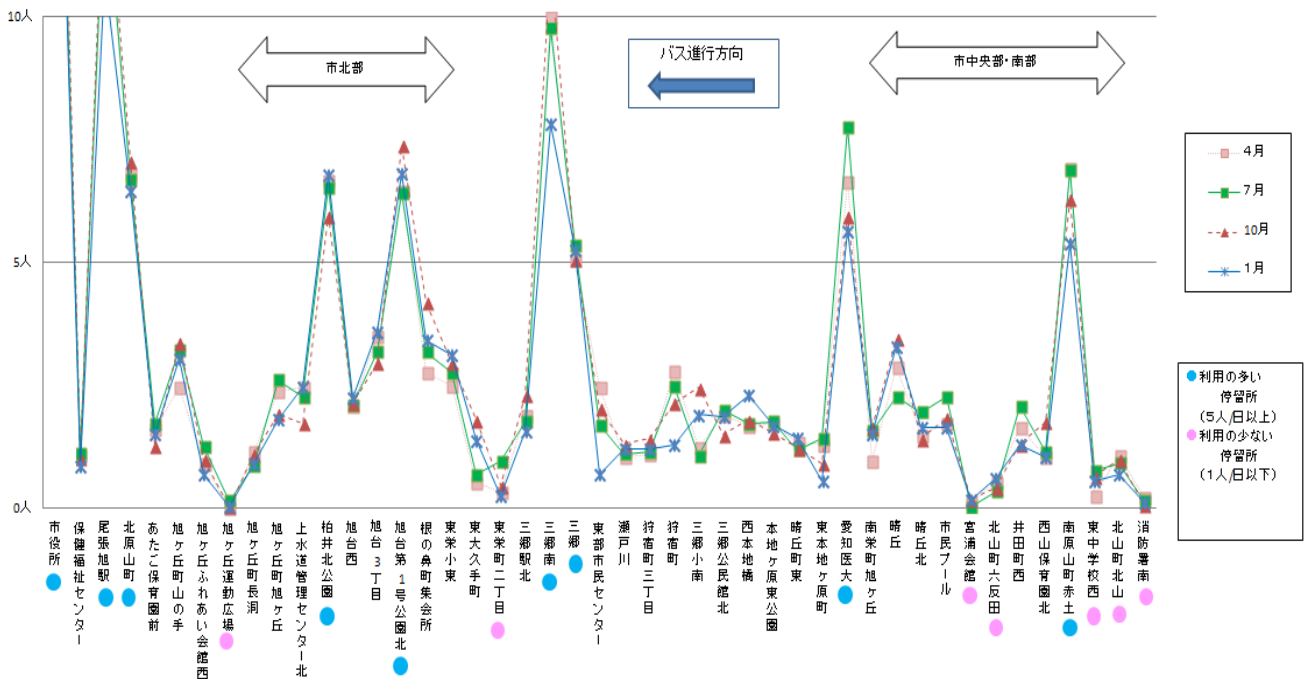
ク 東ルート（左回り）【降車】

降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「尾張旭駅」「北原山町パ
ロー前」「旭台第1号公園北」「イトーヨーカドー前」「愛知医大」となってい
ます。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「旭ヶ丘ふれあい会館北」
「旭ヶ丘町長洞」「瀬戸川」「市民プール」「多世代交流館」「稲葉町」「北山
町六反田」「西山保育園北」「東中学校西」「北山町北山」となっており、やは
り市中央部での利用数が少ない傾向にあります。



参考 平成27年度東ルート左回り利用状況【降車】



以上の結果により、西ルート及び東ルートの右回り及び左回りの乗車、降車ともに、その利用状況は、北部地域での利用者数が多く、中央部地域や南部地域での利用者数が比較的少ない状況にあります。

平成27年4月～平成28年3月の利用状況と平成28年4月～平成29年3月までの利用状況を比較すると、運行内容変更前のルートを基本とした見直しを行ったことから、停留所別の利用状況についてはダイヤ改正を行っておりますが、グラフの形状が概ね同じであり、バス利用者の移動実態が明確になっています。

また、新たに乗入れた西ルートの愛知医大や本地住宅においては、多くの方にご利用いただいておりますが、西ルートの西大道町や東ルートの稲葉町など利用の少ない停留所もあります。

▽ 住宅地における停留所の利用については、城山町、平子町、旭ヶ丘町、旭台といった市北部の丘陵地域にある住宅地に加え、南本地ヶ原、緑町緑ヶ丘、本地住宅といった南部での利用が多いのに対し、井田町、瀬戸川町、北山町といった市中央部の住宅地や稲葉町では少数にとどまっています。

市北部及び南部の住宅地から鉄道駅や商業施設のある市中央部へ向かうためあさび一号が利用されていることが分かります。

▽ 「市役所」停留所は、最も利用者数が多い停留所となっています。ここでは、東西ルートでの乗り継ぎが可能なことや、市役所、体育館などの施設や尾張旭駅に隣接していることが多い理由と考えられます。

▽ 「本地住宅」停留所も利用者が増えております。これは、運行内容変更に合わせて、名古屋市営バス本地ヶ原住宅ターミナル内に停留所を移設したことから、主に藤が丘方面への乗り継ぎとして利用されていることが考えられます。

▽ 「旭労災病院」や「愛知医大」などの病院に隣接した停留所の利用は、乗車、降車ともに多く、通院などに市営バスを利用する人にとって重要な停留所となっています。西ルートは、新たに乗入れましたが、多くの方にご利用いただいております。

▽ イトーヨーカドーの施設内に設置した「イトーヨーカドー前」の利用者数も「右回り」「左回り」とともに多く、こちらも重要な停留所となっています。

▽ 運行内容変更時に停留所の統廃合を行っており、それに伴い移設等行っている停留所においては、西ルートの「西大道町」や東ルートの「稲葉町」のように利用が少ない箇所もあります。

(6) ルート別の停留所利用の状況

平成28年4月から平成29年3月までの間の、各ルートにおける停留所の利用状況（1日あたり平均利用者数）の結果は次のとおりとなりました。

○ 西ルート（右回り）

番号	停留所	乗車
1	市役所	21.2
2	愛知医大	12.4
3	旭労災病院	7.4
4	県営住宅	6.3
5	旭前駅	5.4
6	文化会館北	5.1
7	平子町長池上	4.9
8	本地住宅	4.6
9	西部浄化センター	4.6
10	印場駅	4.1
11	城山町城山	3.8
12	旭前駅北	3.5
13	北本地ヶ原町	2.7
14	城前町茅池	2.7
15	晴丘	2.5
16	南本地ヶ原町	2.5
17	桜ヶ丘町一丁目	2.5
18	東名西公園	2.4
19	平子町中通	2.2
20	東印場橋	2.1
21	東山町	2.1
22	緑町緑ヶ丘	2.0
23	南栄町バロー前	2.0
24	城山小前	1.9
25	小幡緑地東園	1.8
26	庄南町	1.8
27	平子町長池北	1.8
28	印場橋南	1.6
29	渡川福祉センター西	1.5
30	どうたん亭	1.5
31	労災病院口	1.5
32	本地原小	1.5
33	南新町中畑	1.4
34	長坂町西	1.3
35	吉岡公園南	1.3
36	桜ヶ丘町三丁目	1.2
37	平子公民館	1.2
38	瑞鳳橋	1.2
39	本地住宅南	1.1
40	白鳳町一丁目	0.9
41	城前町四丁目	0.9
42	旭野高東	0.8
43	西大道町	0.8
44	新池交流館	0.5
45	城山公園	0.5
46	名古屋産業大前	0.3

番号	停留所	降車
1	市役所	33.8
2	本地住宅	8.1
3	愛知医大	7.1
4	旭労災病院	6.4
5	南栄町バロー前	5.4
6	印場駅	5.2
7	緑町緑ヶ丘	5.2
8	本地原小	4.0
9	旭前駅北	4.0
10	県営住宅	3.9
11	旭前駅	3.4
12	西部浄化センター	3.2
13	庄南町	2.9
14	南本地ヶ原町	2.8
15	南新町中畑	2.8
16	印場橋南	2.5
17	平子町長池上	2.5
18	城山町城山	2.5
19	新池交流館	2.2
20	平子町中通	1.9
21	渡川福祉センター西	1.9
22	晴丘	1.8
23	小幡緑地東園	1.8
24	東印場橋	1.7
25	長坂町西	1.7
26	名古屋産業大前	1.6
27	本地住宅南	1.6
28	桜ヶ丘町一丁目	1.6
29	東山町	1.5
30	どうたん亭	1.4
31	北本地ヶ原町	1.4
32	城前町茅池	1.2
33	吉岡公園南	1.1
34	城山小前	1.0
35	東名西公園	0.9
36	桜ヶ丘町三丁目	0.9
37	白鳳町一丁目	0.8
38	旭野高東	0.8
39	城山公園	0.7
40	城前町四丁目	0.6
41	平子公民館	0.6
42	労災病院口	0.6
43	瑞鳳橋	0.5
44	平子町長池北	0.4
45	西大道町	0.4
46	文化会館北	0.2

○ 西ルート（左回り）

番号	停留所	乗車
1	市役所	40.5
2	本地住宅	10.1
3	旭労災病院	8.2
4	愛知医大	6.7
5	西部浄化センター	4.6
6	県営住宅	4.5
7	平子町長池上	4.3
8	城山町城山	3.6
9	印場駅	3.4
10	緑町緑ヶ丘	3.3
11	旭前駅	3.3
12	南新町中畑	3.2
13	旭前駅北	3.2
14	庄南町	2.5
15	本地原小	2.5
16	平子町中通	2.4
17	小幡緑地東園	2.3
18	城前町茅池	2.3
19	晴丘	2.1
20	印場橋南	2.1
21	長坂町西	2.0
22	南栄町バロー前	1.9
23	北本地ヶ原町	1.6
24	本地住宅南	1.6
25	波川福祉センター西	1.5
26	南本地ヶ原町	1.5
27	吉岡公園南	1.5
28	どうたん亭	1.5
29	桜ヶ丘町一丁目	1.5
30	平子公民館	1.5
31	名古屋産業大前	1.3
32	東名西公園	1.2
33	白鳳町一丁目	1.1
34	東山町	1.0
35	城山小前	1.0
36	旭野高東	0.9
37	新池交流館	0.9
38	平子町長池北	0.9
39	城山公園	0.9
40	桜ヶ丘町三丁目	0.9
41	労災病院口	0.7
42	瑞鳳橋	0.6
43	城前町四丁目	0.3
44	東印場橋	0.3
45	西大道町	0.1
46	文化会館北	0.0

番号	停留所	降車
1	市役所	13.1
2	愛知医大	11.5
3	旭前駅北	9.1
4	文化会館北	7.2
5	旭労災病院	7.1
6	県営住宅	6.8
7	印場駅	5.7
8	旭前駅	5.3
9	城山町城山	4.8
10	平子町長池上	4.7
11	本地住宅	4.3
12	西部浄化センター	4.1
13	晴丘	4.0
14	桜ヶ丘町一丁目	3.8
15	南本地ヶ原町	3.3
16	城山小前	3.0
17	労災病院口	2.9
18	城前町茅池	2.6
19	本地住宅南	2.6
20	東名西公園	2.5
21	北本地ヶ原町	2.5
22	平子町中通	2.2
23	波川福祉センター西	2.0
24	庄南町	2.0
25	南栄町バロー前	2.0
26	緑町緑ヶ丘	1.9
27	どうたん亭	1.9
28	東山町	1.7
29	旭野高東	1.7
30	小幡緑地東園	1.7
31	本地原小	1.6
32	平子町長池北	1.4
33	南新町中畑	1.4
34	印場橋南	1.1
35	桜ヶ丘町三丁目	1.1
36	平子公民館	1.1
37	東印場橋	1.0
38	白鳳町一丁目	0.9
39	西大道町	0.9
40	吉岡公園南	0.8
41	長坂町西	0.7
42	城山公園	0.7
43	瑞鳳橋	0.7
44	城前町四丁目	0.6
45	新池交流館	0.4
46	名古屋産業大前	0.2

○ 東ルート（右回り）

番号	停留所	乗車
1	市役所	24.7
2	イトーヨーカドー前	12.7
3	北原山町パロー前	11.0
4	旭台第1号公園北	7.5
5	尾張旭駅	5.8
6	柏井北公園	5.2
7	旭ヶ丘町山の手	3.9
8	愛知医大	3.9
9	旭台3丁目	3.8
10	根の鼻町集会所	3.7
11	東栄小東	3.7
12	上水道管理センター北	3.6
13	旭台西	3.3
14	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.7
15	森林公園	2.6
16	三郷駅北	2.6
17	晴丘	2.6
18	南原山町赤土	2.3
19	狩宿町アカバナ前	2.3
20	あたご保育園前	2.1
21	西本地橋パロー前	1.8
22	三郷公民館北	1.8
23	旭ヶ丘町長洞	1.3
24	本地ヶ原東公園	1.3
25	市民プール	1.2
26	井田町西	1.2
27	旭平和墓園東	1.2
28	東部市民センター	1.2
29	狩宿町三丁目	1.2
30	東栄町交差点	1.2
31	晴丘北	1.1
32	南栄町パロー前	1.1
33	旭ヶ丘ふれあい会館北	1.0
34	瀬戸川	0.9
35	晴丘町東	0.8
36	保健福祉センター	0.7
37	多世代交流館	0.6
38	東中学校西	0.6
39	西山保育園北	0.6
40	三郷小南	0.4
41	北山町六反田	0.3
42	北山町北山	0.2
43	稲葉町	0.1

番号	停留所	降車
1	イトーヨーカドー前	23.2
2	三郷駅北	15.0
3	市役所	12.5
4	愛知医大	12.3
5	旭ヶ丘町山の手	7.6
6	狩宿町アカバナ前	3.9
7	晴丘	3.0
8	旭台3丁目	2.8
9	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.8
10	南原山町赤土	2.7
11	あたご保育園前	2.7
12	三郷公民館北	2.5
13	上水道管理センター北	2.4
14	旭台第1号公園北	2.3
15	東栄町交差点	2.3
16	狩宿町三丁目	2.2
17	東栄小東	2.0
18	柏井北公園	1.9
19	西本地橋パロー前	1.9
20	本地ヶ原東公園	1.9
21	旭ヶ丘町長洞	1.8
22	南栄町パロー前	1.7
23	森林公園	1.7
24	旭ヶ丘ふれあい会館北	1.6
25	根の鼻町集会所	1.5
26	北原山町パロー前	1.5
27	東部市民センター	1.4
28	井田町西	1.3
29	晴丘町東	1.2
30	旭台西	1.2
31	旭平和墓園東	1.2
32	瀬戸川	1.1
33	東中学校西	1.0
34	多世代交流館	0.7
35	西山保育園北	0.7
36	北山町北山	0.7
37	三郷小南	0.6
38	晴丘北	0.6
39	北山町六反田	0.3
40	市民プール	0.2
41	保健福祉センター	0.1
42	稲葉町	0.1
43	尾張旭駅	0.0

○ 東ルート（左回り）

番号	停留所	乗車
1	イトヨーカドー前	28.5
2	市役所	17.7
3	愛知医大	13.4
4	三郷駅北	8.1
5	旭ヶ丘町山の手	6.8
6	狩宿町アカバナ前	4.6
7	晴丘	3.1
8	南原山町赤土	3.0
9	あたご保育園前	2.9
10	南栄町バロー前	2.7
11	三郷公民館北	2.7
12	上水道管理センター北	2.6
13	旭台3丁目	2.4
14	旭ヶ丘町長洞	2.4
15	西本地橋バロー前	2.3
16	本地ヶ原東公園	2.3
17	柏井北公園	2.1
18	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.1
19	井田町西	2.1
20	旭台第1号公園北	2.0
21	森林公園	1.9
22	東部市民センター	1.9
23	狩宿町三丁目	1.8
24	北原山町バロー前	1.8
25	東中学校西	1.7
26	北山町北山	1.6
27	瀬戸川	1.5
28	東栄小東	1.4
29	旭ヶ丘ふれあい会館北	1.3
30	晴丘町東	1.3
31	旭台西	1.2
32	東栄町交差点	1.2
33	根の鼻町集会所	1.1
34	旭平和墓園東	0.9
35	西山保育園北	0.9
36	多世代交流館	0.9
37	晴丘北	0.8
38	市民プール	0.7
39	三郷小南	0.3
40	北山町六反田	0.2
41	保健福祉センター	0.1
42	尾張旭駅	0.0
43	稲葉町	0.0

番号	停留所	降車
1	市役所	18.8
2	イトヨーカドー前	13.1
3	尾張旭駅	10.8
4	北原山町バロー前	8.6
5	旭台第1号公園北	7.9
6	愛知医大	5.2
7	柏井北公園	4.7
8	三郷駅北	4.6
9	根の鼻町集会所	4.6
10	東栄小東	4.0
11	晴丘	3.8
12	南原山町赤土	3.7
13	旭台3丁目	3.4
14	旭ヶ丘町山の手	3.3
15	上水道管理センター北	2.6
16	狩宿町アカバナ前	2.6
17	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.5
18	旭台西	2.4
19	森林公園	2.4
20	三郷公民館北	2.0
21	西本地橋バロー前	2.0
22	晴丘北	1.6
23	東栄町交差点	1.5
24	あたご保育園前	1.5
25	井田町西	1.5
26	東部市民センター	1.4
27	本地ヶ原東公園	1.3
28	旭平和墓園東	1.3
29	狩宿町三丁目	1.3
30	三郷小南	1.2
31	保健福祉センター	1.1
32	晴丘町東	1.1
33	南栄町バロー前	1.1
34	市民プール	1.0
35	旭ヶ丘ふれあい会館北	1.0
36	瀬戸川	0.9
37	旭ヶ丘町長洞	0.8
38	東中学校西	0.8
39	西山保育園北	0.8
40	北山町六反田	0.6
41	多世代交流館	0.5
42	北山町北山	0.5
43	稲葉町	0.1

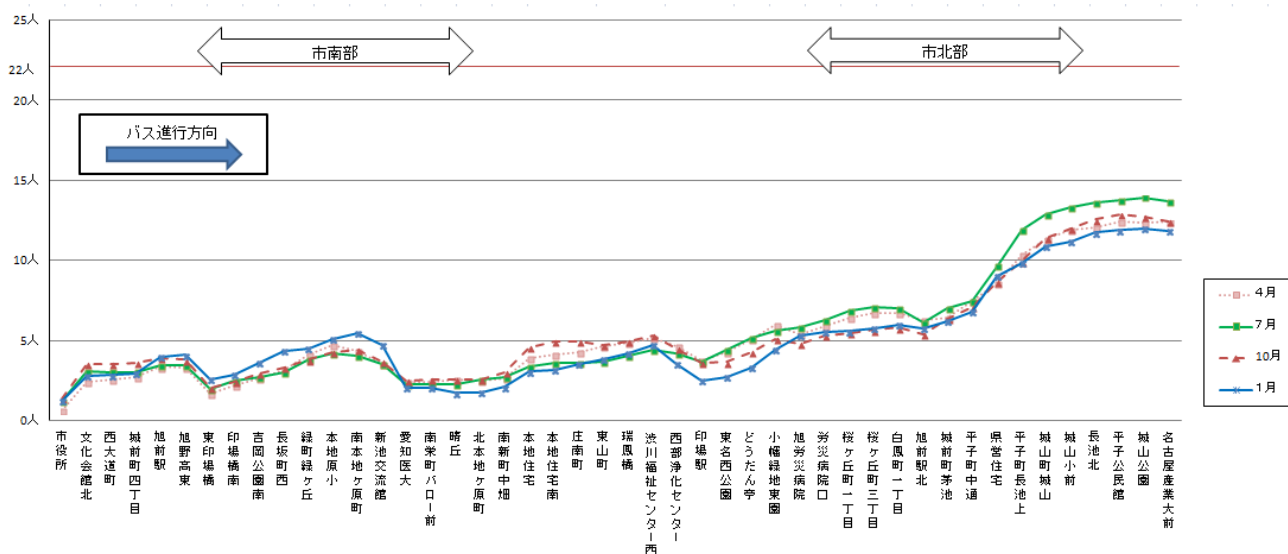
(7) 平日第2便の平均乗車人員の状況

平成28年4月、7月、10月及び平成29年1月における、西ルート及び東ルートの便別利用者数が多い平日第2便の平均乗車人員を、それぞれグラフで示しました。なお、グラフの数値はバスが各停留所を発車した際のバス車内の平均乗車人員を表し、赤線はバス車両の定員（西ルートは22人、東ルートは26人）を表しております。

ア 西ルート（右回り）

運行内容見直し前と同様に「県営住宅」～「市役所」間で平均乗車人員が多くなっており、市北部の住宅地から「尾張旭駅」や「市役所」への利用が多い傾向にあります。

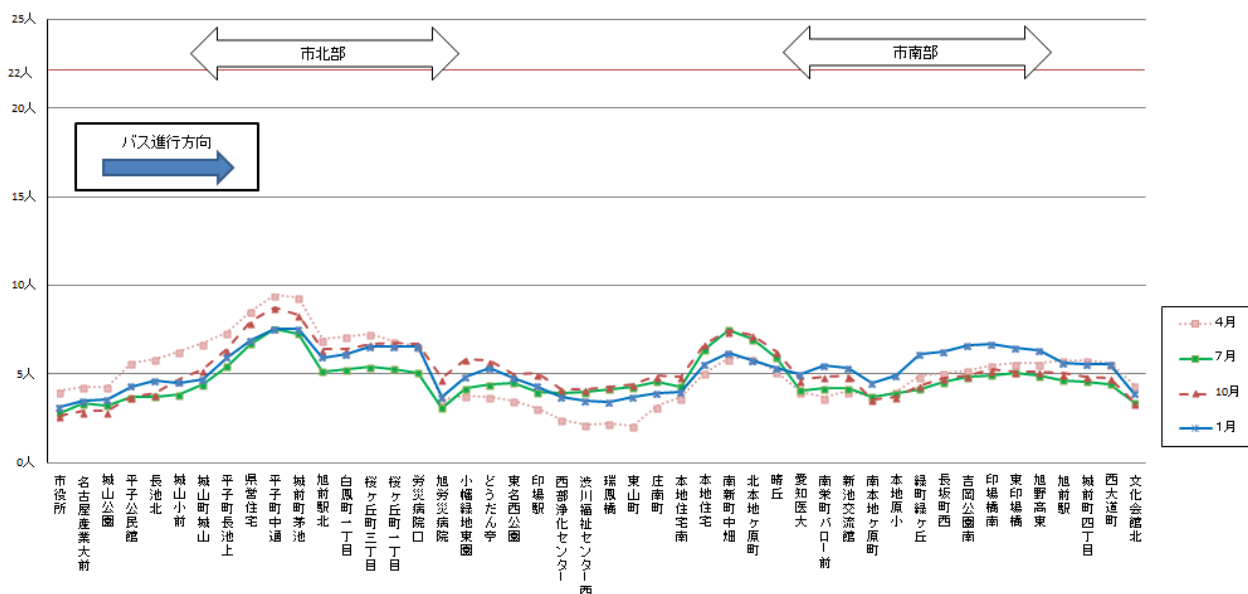
平日第2便の乗車人員<西ルート(右回り)>



イ 西ルート（左回り）

「平子町長池上」～「旭労災病院」間で平均乗車人員が多くなっており、市北部の住宅地から「旭労災病院」への利用が多い傾向にあります。

また、「本地住宅」～「愛知医大」間も乗車人員が多く、市南部の住宅地から「愛知医大」への利用もある状況です。

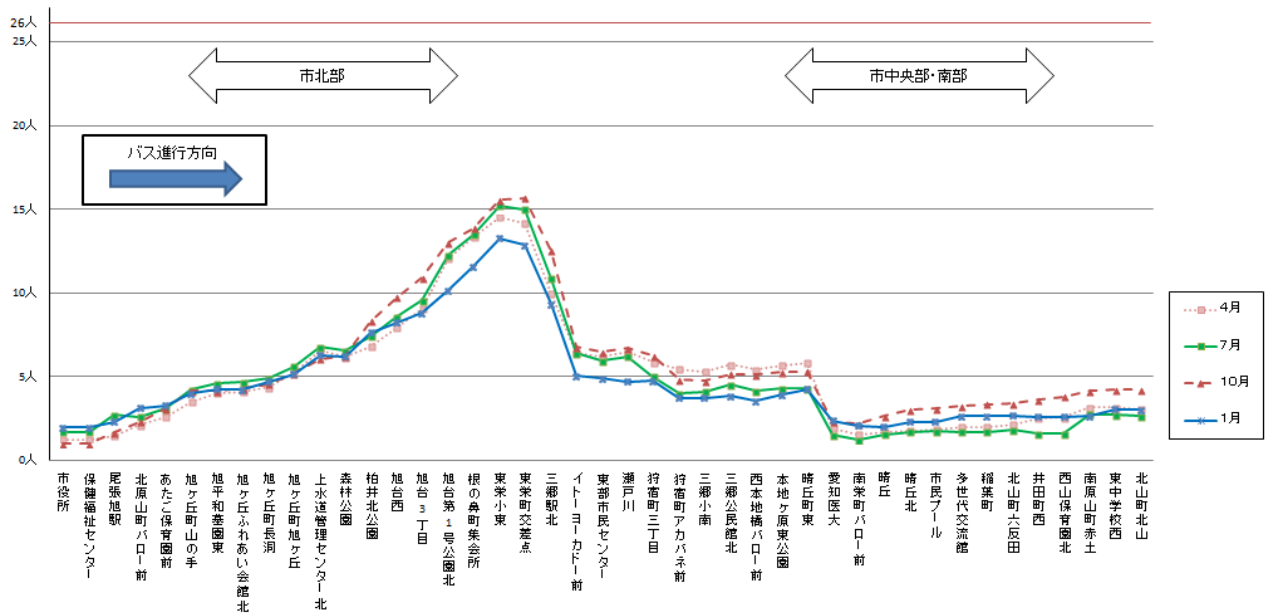


ウ 東ルート（右回り）

「旭ヶ丘町旭ヶ丘」～「イトーヨーカドー前」間で平均乗車人員が多くなっており、市北部の住宅地から「三郷駅北」や「イトーヨーカドー前」「愛知医大」への利用が多い傾向にあります。

昨年度まで平均乗車人員が15人を超えていた「旭台第1号公園北」～「イトーヨーカドー前」間が、運行内容変更により15人以下となっております。

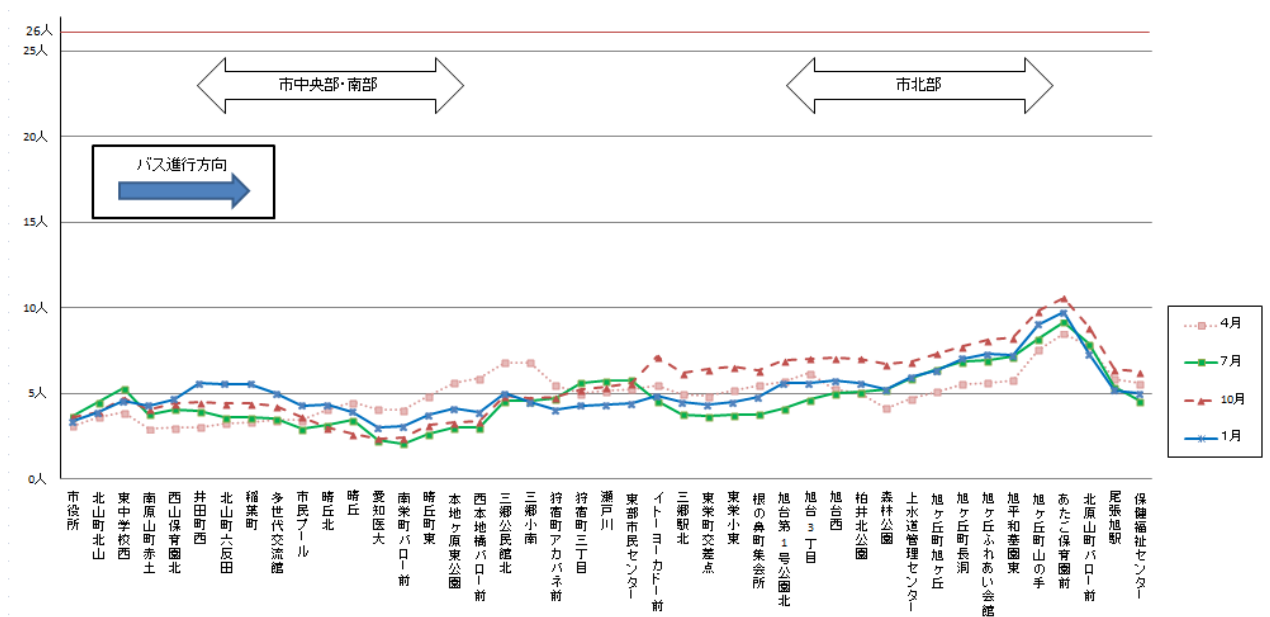
平日第2便の乗車人員<東ルート(右回り)>



エ 東ルート（左回り）

「旭ヶ丘町山の手」～「尾張旭駅」間で平均乗車人員が多くなっており、市北部の住宅地から「尾張旭駅」「市役所」への利用が多い傾向にあります。

平日第2便の乗車人員<東ルート(左回り)>



以上の結果により、西ルート及び東ルートの便別利用者数が多い平日第2便の平均乗車人員は、北部地域からの利用者数が多く、北部地域から市中央部や主要な病院までの区間は乗車人員が多い状況にあります。また、平成28年4月、7月、10月及び平成29年1月のグラフの形状がほぼ同じであることから、平均乗車人員の傾向はどの時期も同じであると言えます。

▽ どのルートでも北部地域の住宅地における停留所から多くの利用者が乗車し、徐々に平均乗車人員が多くなっています。

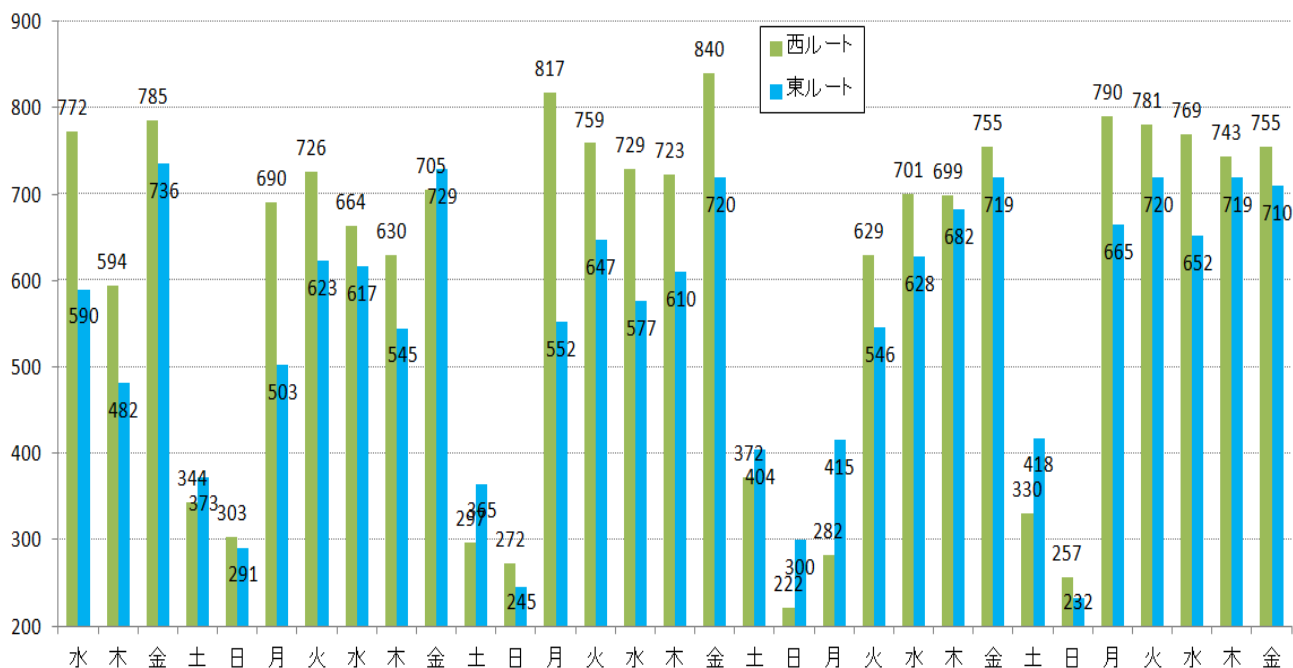
▽ 「市役所」「尾張旭駅」「旭労災病院」「愛知医大」「三郷駅北」「イトーヨーカドー前」などの停留所で多くの利用者が降車し、各停留所を過ぎてからは平均乗車人員が少なくなっています。

▽ 運行本数を増加したことにより、昨年度まで特に平均乗車人員が多かった東ルートの右回りの「旭台第1号公園北」～「イトーヨーカドー前」間に表れているように、利用者が分散し、平均利用乗車人員が全体に低下し、積み残しが発生する可能性が低くなっています。

(8) 曜日別利用者数の状況

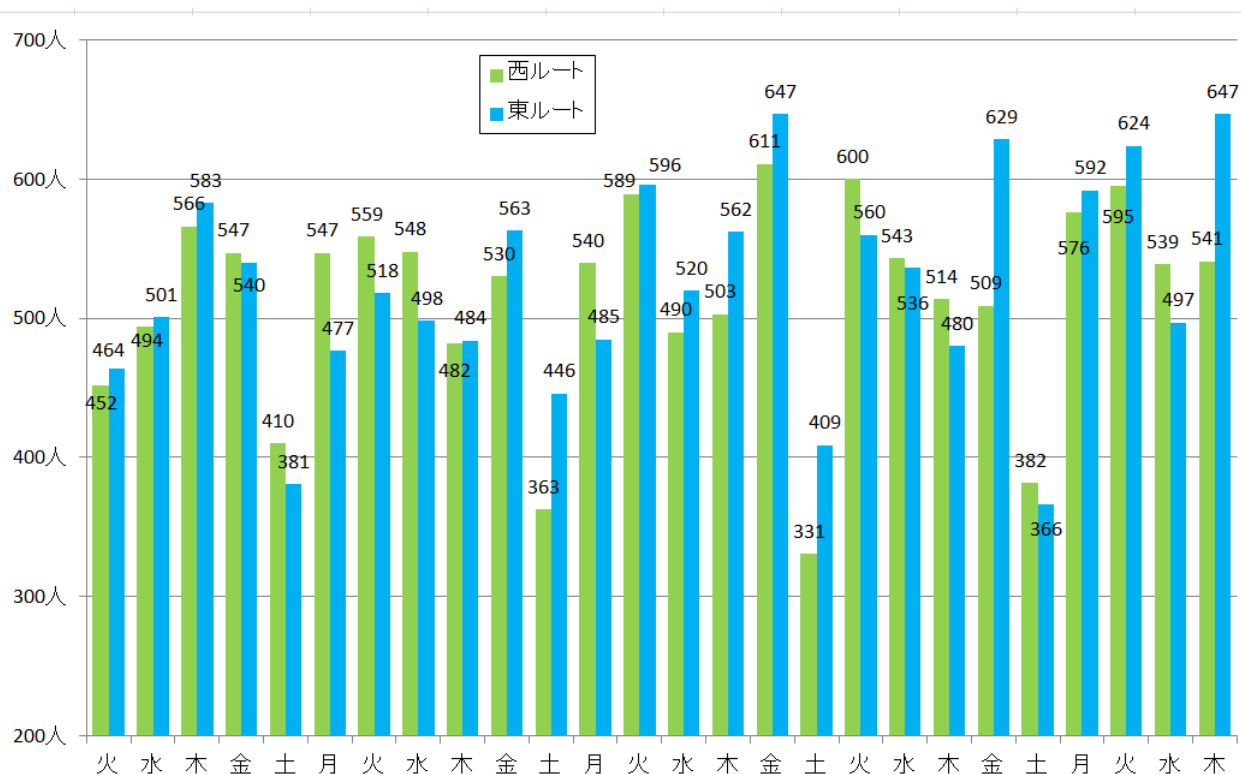
平成29年3月の1か月間の利用者数をグラフで示しました。

平成28年度より日曜日の運行を開始しましたが、昨年度の状況と同様に平日に比べ土日の利用者数が少なくなっています。これは、病院の休みや家族での外出機会がその要因の一つであると考えられます。



※西ルート、東ルートの乗車降車の合計値にて作成

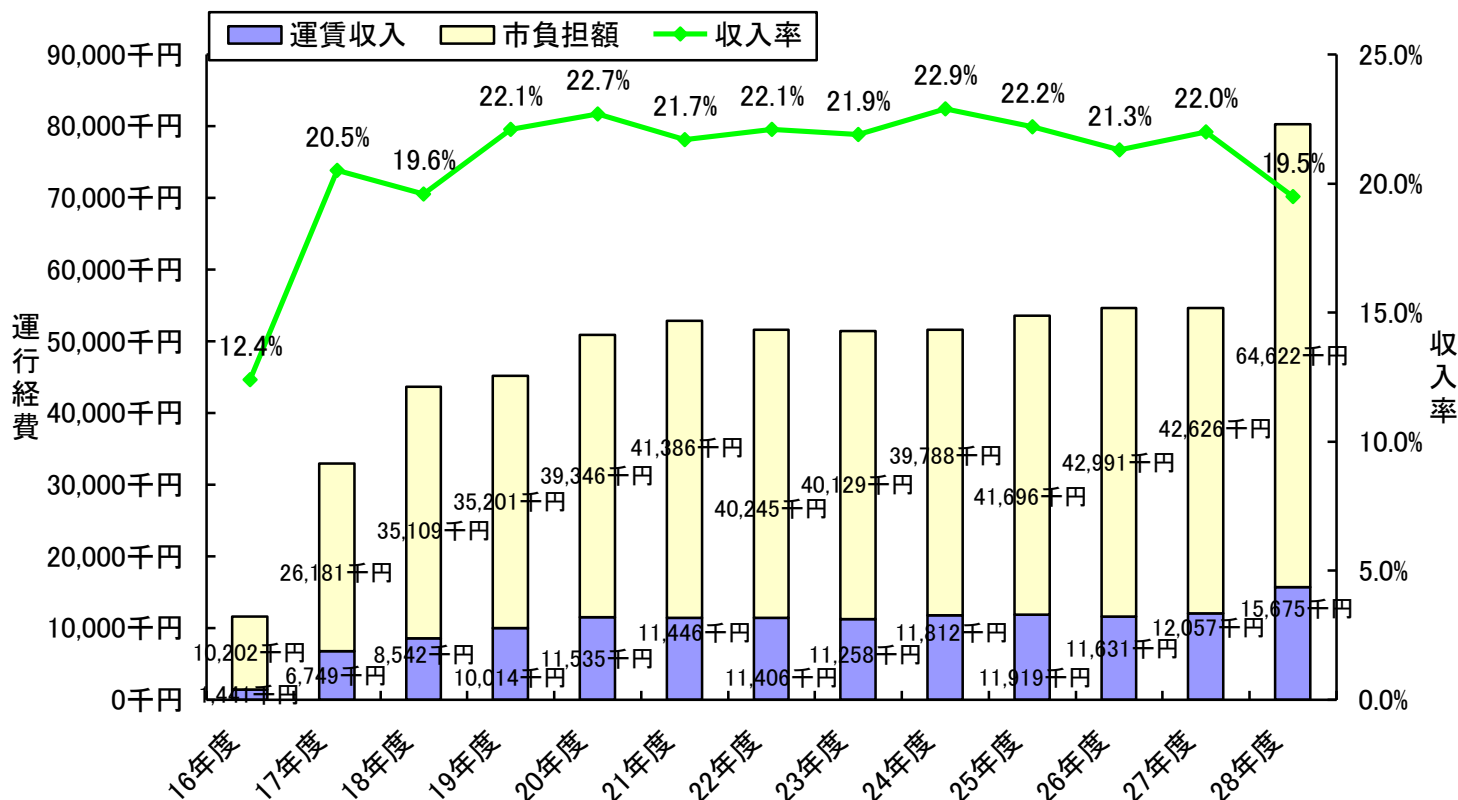
参考 曜日別利用状況【平成28年3月】



4 市営バスの運行経費の状況

(1) 市営バスの運行経費の状況

平成21年度以降、収入率においては22%前後を推移していましたが、平成28年度に運行内容を変更し、運行本数等が増加したことから、運賃収入が増加しものの、運行経費も同様に増加したことから収入率が20%を切りました。



- ※ 16年度は12月からの4か月間（3ルート、ジャンボタクシーでの運行）
- ※ 18年度は8月から4ルートでの運行、マイクロバスでの無償運行等を実施
- ※ 19年度は12月から2台をマイクロバスに変えて運行
- ※ 20年度は10月から2ルート循環型に変更して運行
- ※ 20年度からは、指定管理者制度を導入。また障がい者本人の運賃を無料化
- ※ 23年度からは、市負担額に東ルート運行経費に対する国庫補助を含む

参考 利用者一人当たりの運行経費推移

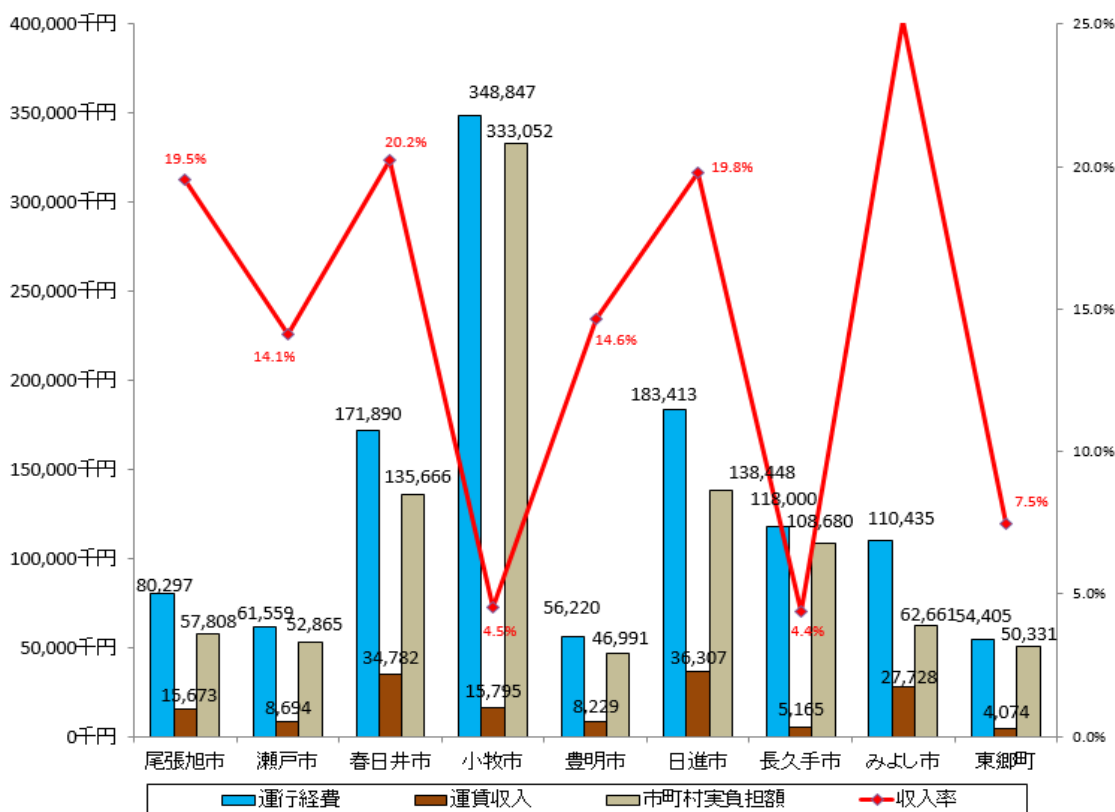
単位：人、円

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
利用者数	14,995	70,540	86,793	107,263	132,653	135,625	138,273
利用者一人当たりの運行経費	776	467	503	422	384	390	374
年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
利用者数	141,731	148,868	153,553	152,693	157,319	200,168	
利用者一人当たりの運行経費	363	347	349	358	348	401	

(2) 近隣市町のコミュニティバス運行経費等の状況

近隣市町のコミュニティバスにおける平成28年度の運行経費などの状況は、次のとおりです。

○ 運行経費等の状況



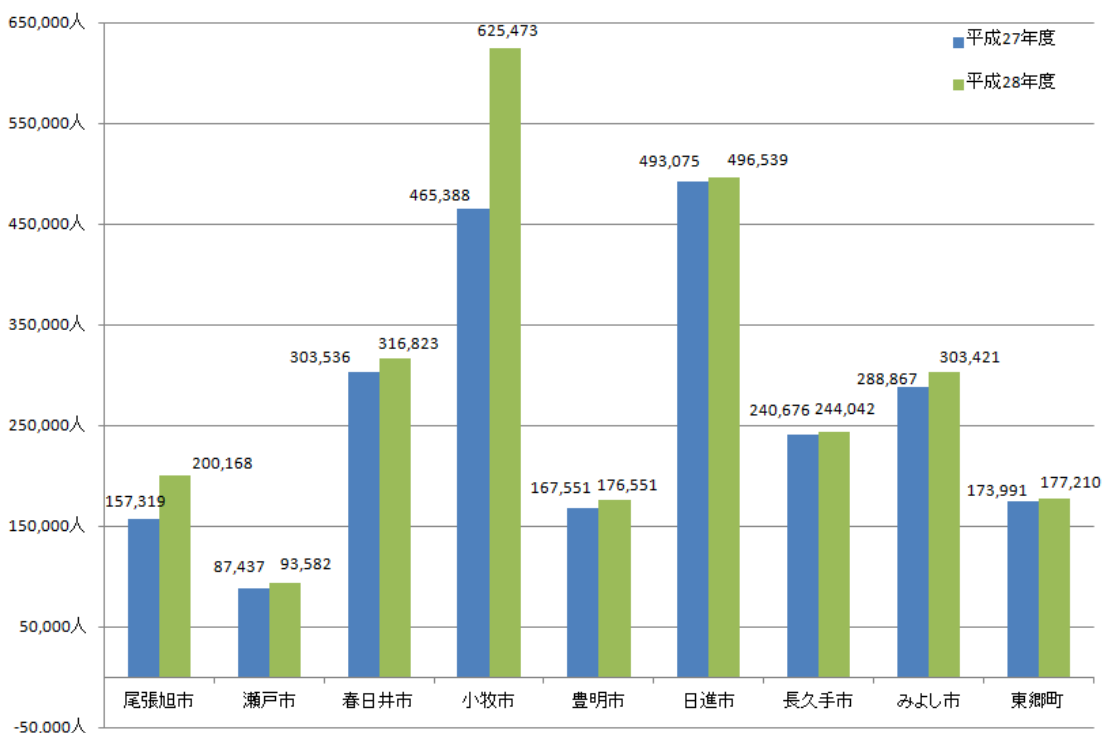
※ 「愛知県内の市町村における自主運行バス等の運行状況について（県地域振興部交通対策課）」より

注) ・各市町により、基本運賃や運賃特例などに違いがあるため、一概に数値のみの比較は難しい。

- ・東郷町は、市町村が自ら有償運送を行っているもの（道路運送法79条登録（旧80条許可）による運行）であり、その他の市町は、市町村が主体となって乗合事業者に運行を委託しているもの（道路運送法4条許可による運行）
- ・国県からの補助を含む場合、運行経費と運賃収入+市町村実負担額が一致しない。

○ 年間利用者数

単位：人



○ 近隣市町のコミュニティバスの内容（平成28年度）

市町村名	バス等の愛称	運行目的	委託事業者名
瀬戸市	瀬戸市コミュニティバス	交通空白地区の解消	瀬戸自動車運送㈱
春日井市	かすがいシティバス (はあとふるライナー)	公共交通空白地域の解消 昼間帯の移動手段の確保による日常生活の利便性向上	名鉄バス㈱
小牧市	こまき巡回バス	交通空白地区の解消 公共施設の利用促進	あおい交通(株)
豊明市	ひまわりバス	交通弱者の社会参加促進 公共施設への利便性の向上 交通空白地区の解消	名鉄バス㈱
日進市	くるりんバス	公共交通空白地域の解消 市民の社会参加・交流の促進	名鉄バス㈱
長久手市	N-バス	交通空白地区の解消 公共施設への利便性向上 交通弱者の社会参加促進 子育て支援 通勤・通学者の朝夕の利便性の向上	名鉄バス㈱
みよし市	さんさんバス	交通空白地区の解消 交通弱者の社会参加支援 地域間の交流促進	愛知つばめ交通㈱
東郷町	じゅんかい君	交通空白地区の解消 町内の活性化	瀬戸自動車運送㈱
尾張旭市	あさびー号	交通空白地区の解消	豊栄交通(株)

市町村名	路線数	使用車両台数	基本運行日	1日運行回数	基本運賃	運賃特例
瀬戸市	8本	5台	毎日 (年末年始を除く) 外	6回 外	100円	障害者は半額、身体障害者手帳等所持者は、付添も半額 1歳未満児無料 1歳以上6歳未満児は6歳以上に同伴同伴される場合無料(2名まで)
春日井市	4本	8台	毎日 (年末年始を除く)	15回 外	200円	未就学児、障がい者(手帳所持者とその付添人1名まで無料 小人、運転免許自主返納者カード、高齢者カード、マタニティカード所持者所持者100円
小牧市	19本	18台	毎日 (年末年始を除く)	16.5回 外	200円	乗継自由。小学生半額。幼児(小学生未満)、65歳以上無料。 ※身体障害者手帳等を提示すれば本人及び付添1名無料。 ※ピーチバス等の定期券を提示すれば無料。
豊明市	7本	3台	毎日 (年末年始を除く)	5回 外	100円	市内在住で中学生以下・身体障害者手帳等を携帯している方と付き添いの方1名無料
日進市	7本	7台	毎日 (年末年始を除く)	11回 外	200円	他のコースへ当日乗り継ぎ場合、1回のみ100円割引。中学生以下の子ども、身体障害者手帳等所持者、介護保険法による介護認定を受けている者及びその付き添い1名は無料。運転免許自主返納者は3ヵ月間無料。
長久手市	9本	6台	毎日 (年末年始を除く)	12回 外	100円	中学生以下、未就学児1人につき付添1人、妊婦、身体障害者手帳等所有者と付添1名、市発行「あったかもど」携帯者(高齢者・障害者用)無料
みよし市	3本	7台	毎日 (年中無休)	12.5回 外	100円	未就学児、介助者、バス-乗合タクシー間の乗り継ぎ無料
東郷町	4本	4台	毎日 (年末年始を除く)	12回 外	100円	障害者と付添1人、中学生以下の子ども、65歳以上無料
尾張旭市	2本	6台	毎日 (年末年始を除く)	9回 外	100円	未就学児及び障害者無料(障害者の付添も1人まで無料)

5 市営バス運行に対する市民意識

より利用しやすい市営バスの運行を行うためには、市営バスの利用状況の調査・分析を行うとともに、市民ニーズや意見・提言等を把握して、現在の運行内容における課題・問題点を整理することが必要であると考えられます。

○ 利用者アンケート

利用者からの意見収集により、市営バス運行に係る利用者の属性と利用状況を明らかにし、運行の課題等を抽出することを目的として、下記のとおり利用者アンケートを実施しました。

1 調査期日

平成28年12月15日（水）（天候：晴れ）

【(参考)平成27年度調査】

平成27年12月3日（木）（天候：雨のち曇り）

2 調査方法

調査員（市都市計画課、豊栄交通株式会社）がバスに同乗し、調査期日の利用者に対して、アンケート調査表（様式参照）を配布し、車内に設置したアンケート回収箱により回収しました。

（回収期間：12月15日～28日）

3 回収結果

(1) 西ルート（右回り）	配布枚数	108 枚	回収枚数	66 枚
(2) 西ルート（左回り）	配布枚数	105 枚	回収枚数	69 枚
(3) 東ルート（右回り）	配布枚数	92 枚	回収枚数	90 枚
(4) 東ルート（左回り）	配布枚数	75 枚	回収枚数	56 枚
合計	配布枚数	380 枚	回収枚数	281 枚 (回収率 73.9%)

尾張旭市営バス あさびー号 利用者アンケート調査

このアンケートは、尾張旭市営バス あさびー号に関して、利用者の皆さまのご意見をお聞きし、今後の運行改善の参考とするために尾張旭市が実施するものです。設問が多く大変お手数をおかけしますが、ぜひご協力をお願い申し上げます。 市役所都市計画課

(当てはまる番号に○を付けてください。また、設問によっては言葉でお答え下さい。)

Q.あなたのことについてお聞きします。

①	年 齢	1 80歳以上 2 70歳代 3 60歳代 4 50歳代 5 40歳代 6 30歳代 7 20歳代 8 20歳未満
②	性 別	1 男性 2 女性
③	職 業	1 自営業 2 会社員 3 公務員 4 パート・アルバイト 5 主婦(夫) 6 学生 7 無職 8 その他()
④	自ら運転して 使える交通手段	1 ない 2 自転車 3 バイク 4 自動車 ※該当する項目全てに○をつけてください。
⑤	尾張旭市営バス の利用回数	1 ほとんど毎日 2 週3~4回程度 3 週1~2回程度 4 月1~3回程度 5 はじめての利用
⑥	ご自宅からバス停 までの時間	1 歩いて3分以内 2 歩いて3~5分 3 歩いて5~7分 4 歩いて7~10分 5 歩いて10分以上

Q.利用する目的・理由などについてお聞きします。

⑦	利用する目的は何 ですか (2つまで)	1 買い物・飲食 2 レジャー・娯楽 3 通院 4 市役所への用事(会議を含む) 5 通勤・通学 6 仕事上での移動 7 試乗 8 その他()
⑧	利用する理由は何 ですか (2つまで)	1 他に交通手段がないから 2 運賃が安く経済的だから 3 利用時間がよかったから 4 出発地・目的地が停留所の近くだから 5 市営バス「あさびー号」に興味があったから 6 自動車で外出するより便利だから 7 飲酒の機会があったから 8 その他()

Q.平成28年4月1日の運行内容変更についてお聞きします。

⑨	運行内容変更前からあさびー号を利用していましたか	1 利用していた 2 利用していなかった
⑩	あさびー号の運行内容変更により	1 便利になった 2 あまり変わらない 3 不便になった どのような点でそう思いますか。※複数回答可 1 ダイヤ 2 停留所 3 日・祝日運行 4 定期券導入 5 その他()

Q.あなたがどのようにあさびー号を利用しているのかお聞きします。

⑪	本日の乗降内容について	乗車した停留所 _____ 降車した(する)停留所 _____ ⇒ _____ ※停留所番号のみの記入でも結構です。	降車後、東ルートへの乗り換え 1 する 2 しない 他の電車・バスへの乗換 1 する 2 しない
⑫	本日の目的地について	※ 本日の目的地について差し支えなければお答えください。 例) 市役所、〇〇ストア〇〇店、〇〇病院 地名、駅名等でも結構です。	

⑬	本日の、お出かけとお帰りの交通手段をお答えください。(それぞれ2つまで)	お出かけ⇒	1 あさびー号	2 自動車	3 タクシー	4 自転車	5 電車	6 徒歩	7 あさびー号以外のバス	8 その他
		お帰り ⇒	1 あさびー号	2 自動車	3 タクシー	4 自転車	5 電車	6 徒歩	7 あさびー号以外のバス	8 その他

Q. 市営バスの運行の内容について項目ごとに5段階評価でお答えください。

4. 5. を選択されたかたは具体的に何が悪いのかご記入ください。

a	ルートについて	1 とてもよい	2 まあよい	3 どちらともいえない	4 あまりよくない	5 かなり悪い	→ (具体的には? :)
b	運行時間帯について	1 とてもよい	2 まあよい	3 どちらともいえない	4 あまりよくない	5 かなり悪い	→ (具体的には? :)
c	運行ダイヤの間隔について	1 とてもよい	2 まあよい	3 どちらともいえない	4 あまりよくない	5 かなり悪い	→ (具体的には? :)
d	車の乗り心地などについて	1 とてもよい	2 まあよい	3 どちらともいえない	4 あまりよくない	5 かなり悪い	→ (具体的には? :)
e	停留所の位置について	1 とてもよい	2 まあよい	3 どちらともいえない	4 あまりよくない	5 かなり悪い	→ (具体的には? :)
f	停留所の間隔について	1 とてもよい	2 まあよい	3 どちらともいえない	4 あまりよくない	5 かなり悪い	→ (具体的には? :)
g	運転手の対応について	1 とてもよい	2 まあよい	3 どちらともいえない	4 あまりよくない	5 かなり悪い	→ (具体的には? :)
h	全体としてどう思われますか	1 とてもよい	2 まあよい	3 どちらともいえない	4 あまりよくない	5 かなり悪い	→ (具体的には? :)

その他感想、意見、利用促進のアイデアなどをご自由にご記入ください。

--

ご協力ありがとうございました。

※ このアンケート用紙はご記入後、12月28日(水)までに車内の回収箱にご投函いただくか、市役所都市計画課へご持参いただけますと幸いです。

※ 回答いただいた結果は、今後の運行改善の参考とする以外には使用しません。

ダイヤ改正について

平成28年4月1日以降発生している遅延への対策として、以下の便からダイヤ改正を行います。

平成29年1月4日(水) 第1便から

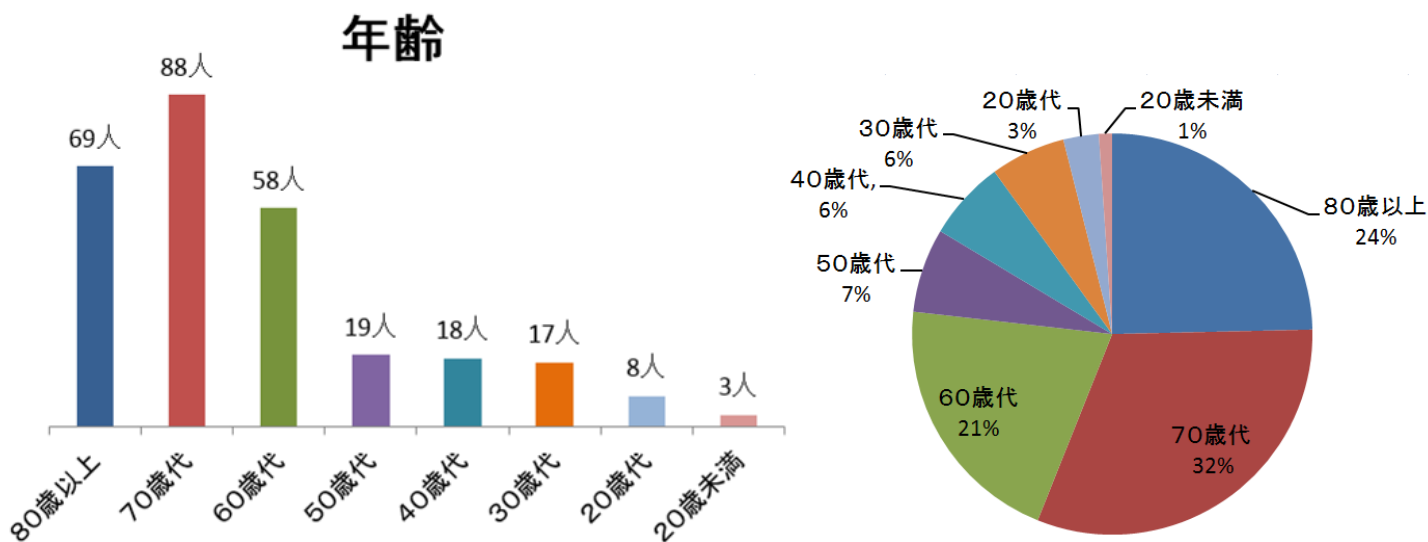
※ 改正後のダイヤにつきましては、12月19日頃に発行します新しい時刻表(車内にて配布予定)をご覧ください(1月1日号広報にも同封して全戸配布いたします)。

平成28年度利用者アンケート調査集計結果

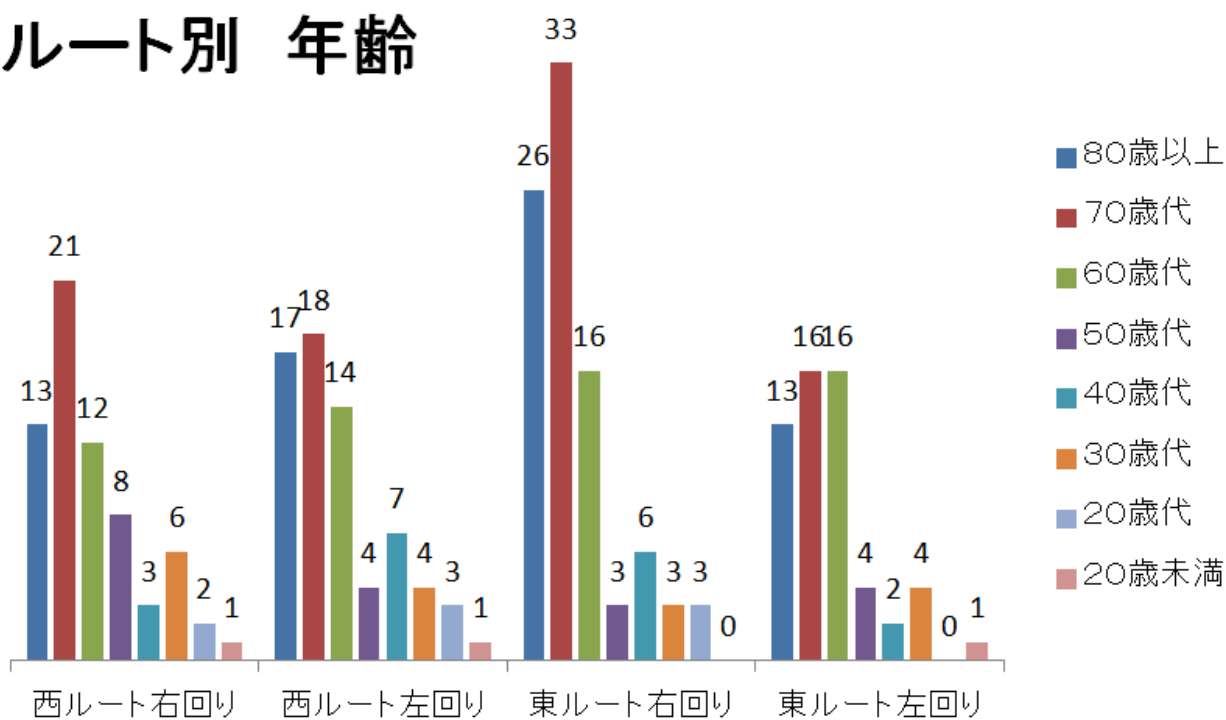
1 集計結果

Q. あなたのことについてお聞きします。

①年齢



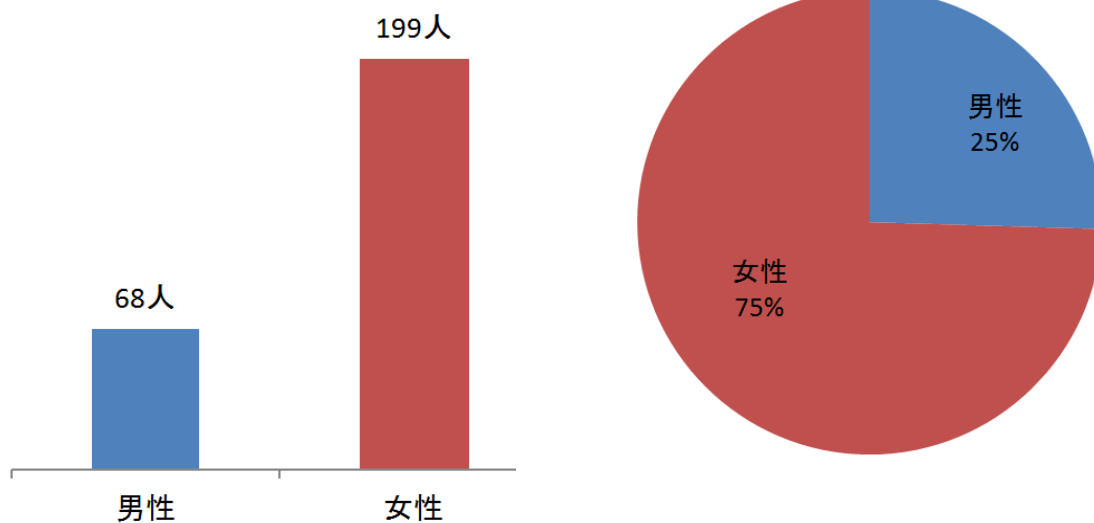
ルート別 年齢



- ・年齢について、「60歳代」以上の人が約8割となっている。
- ・ルート別の年齢では、どのルートでも「70歳代」の利用者が最も多くなっている。

②性別

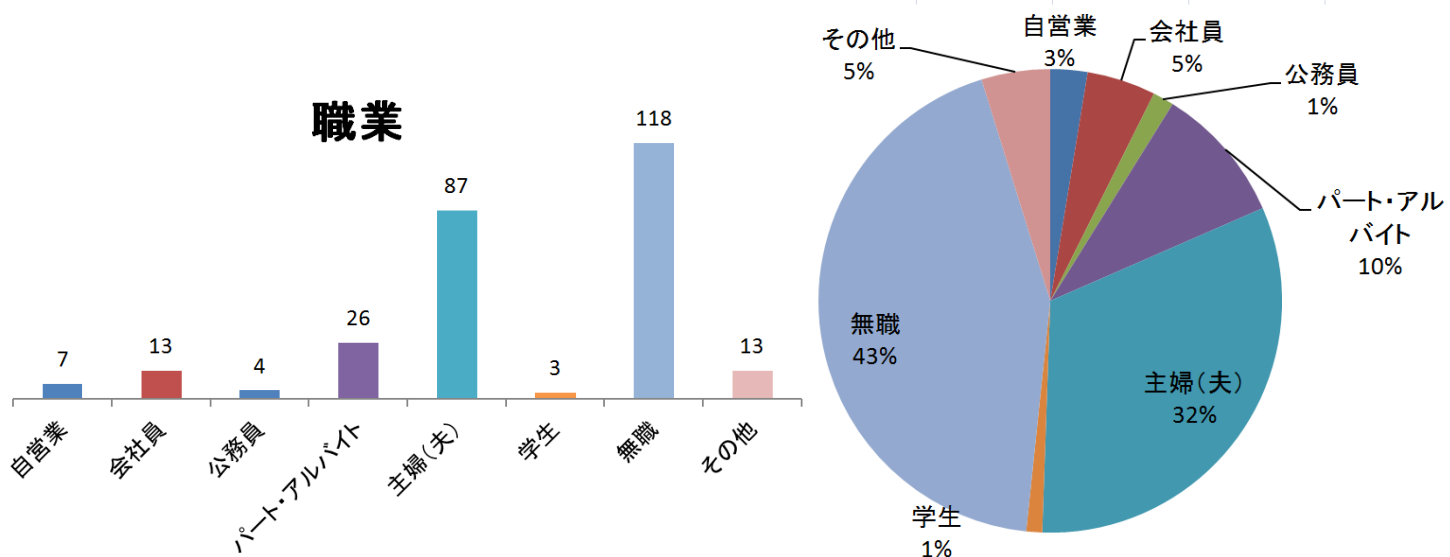
性別



・性別について、女性の利用者が75%となっており、昨年度と同程度である。

③職業

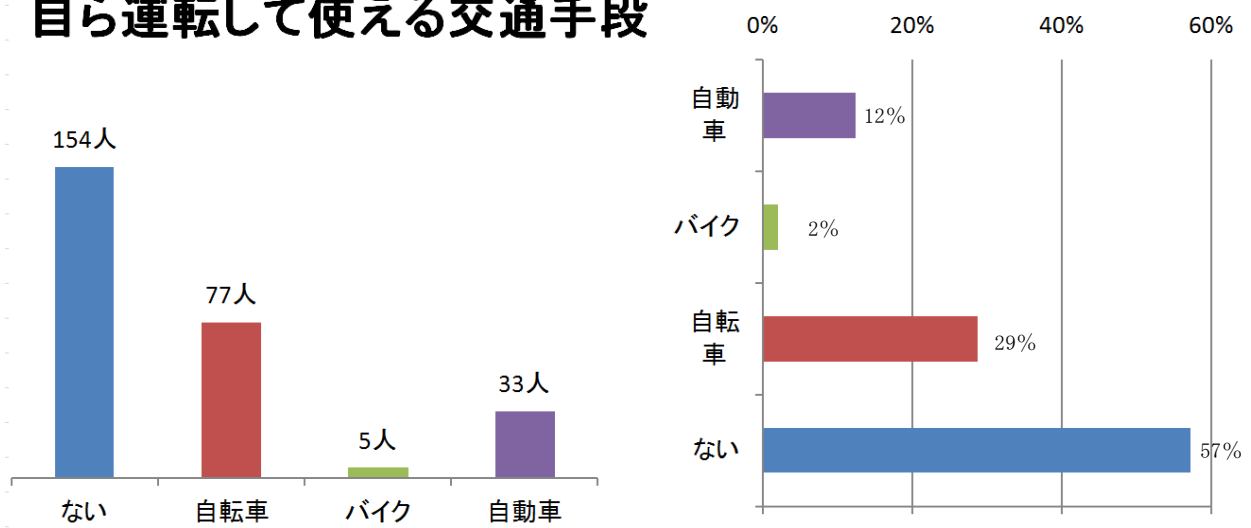
職業



・職業について、「主婦（夫）」または「無職」と答えた人の割合が合わせて約8割となっている。

④自ら運転して使える交通手段（複数回答可）

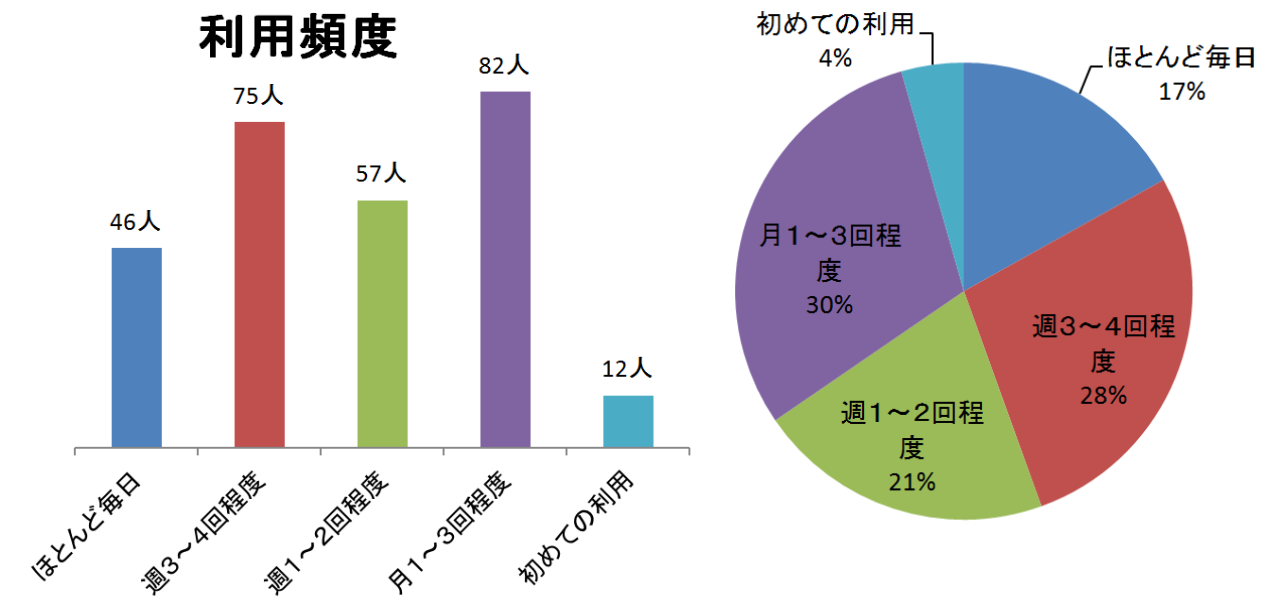
自ら運転して使える交通手段



- ・自ら運転して使える交通手段について、「ない」と答えた人が昨年度より2ポイント増えて57%となっている。
- ・一方で「自動車」を運転することが可能な人は、12%で昨年度より9ポイント増えている。

⑤尾張旭市営バスの利用回数

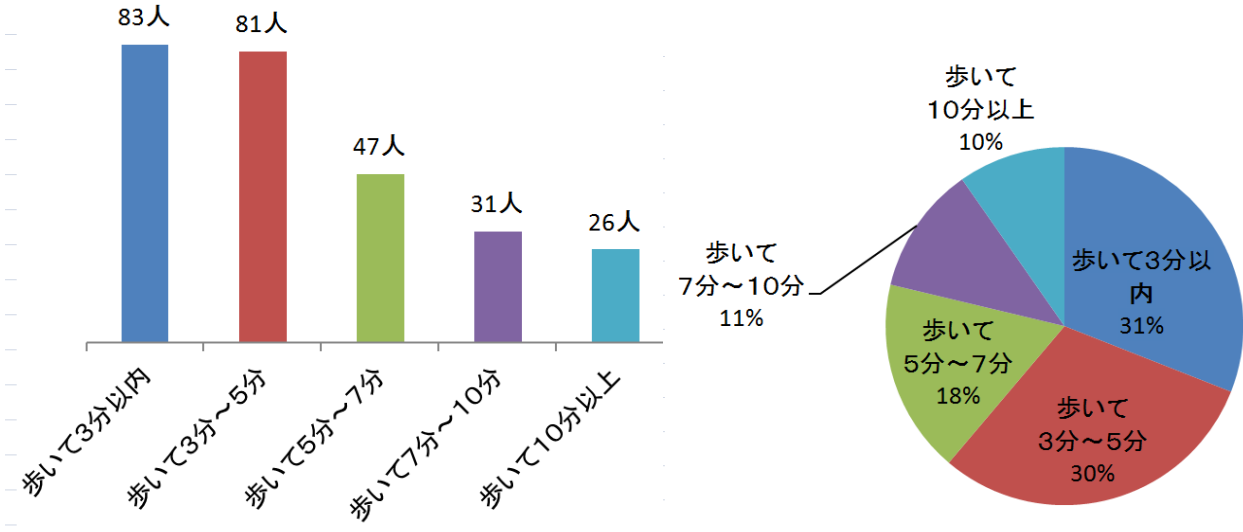
利用頻度



- ・「ほとんど毎日」「週3~4回程度」利用している人の割合が、昨年度より2ポイント増えて45%となっている。
- ・利用回数については、「初めて」の利用と答えた人は、わずか4%となっている。

⑥自宅からバス停までの時間

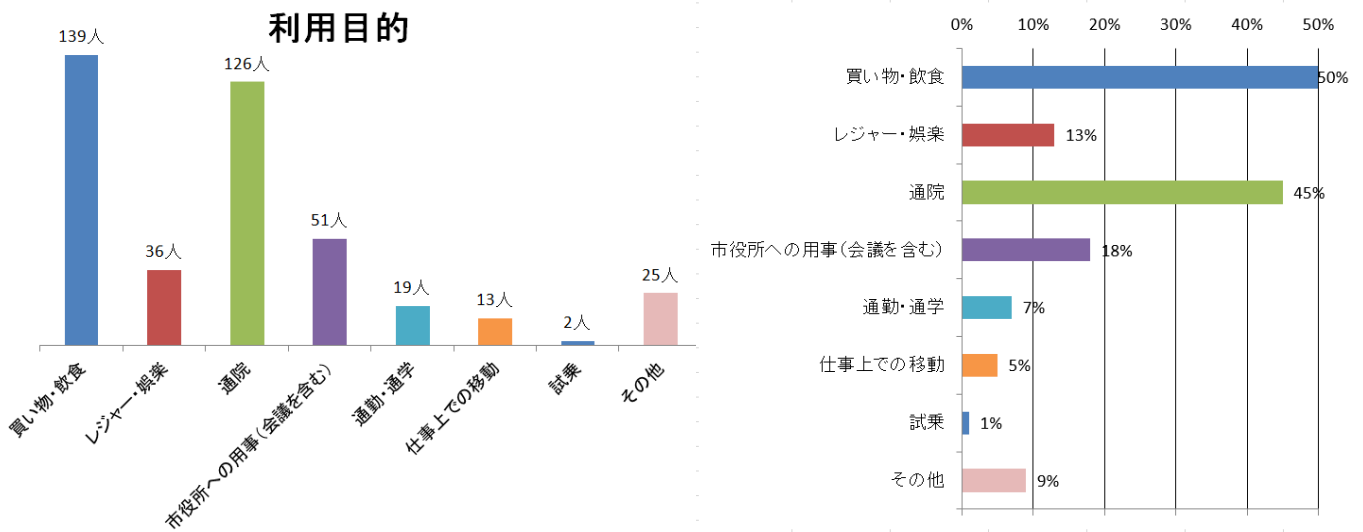
自宅から停留所までの時間



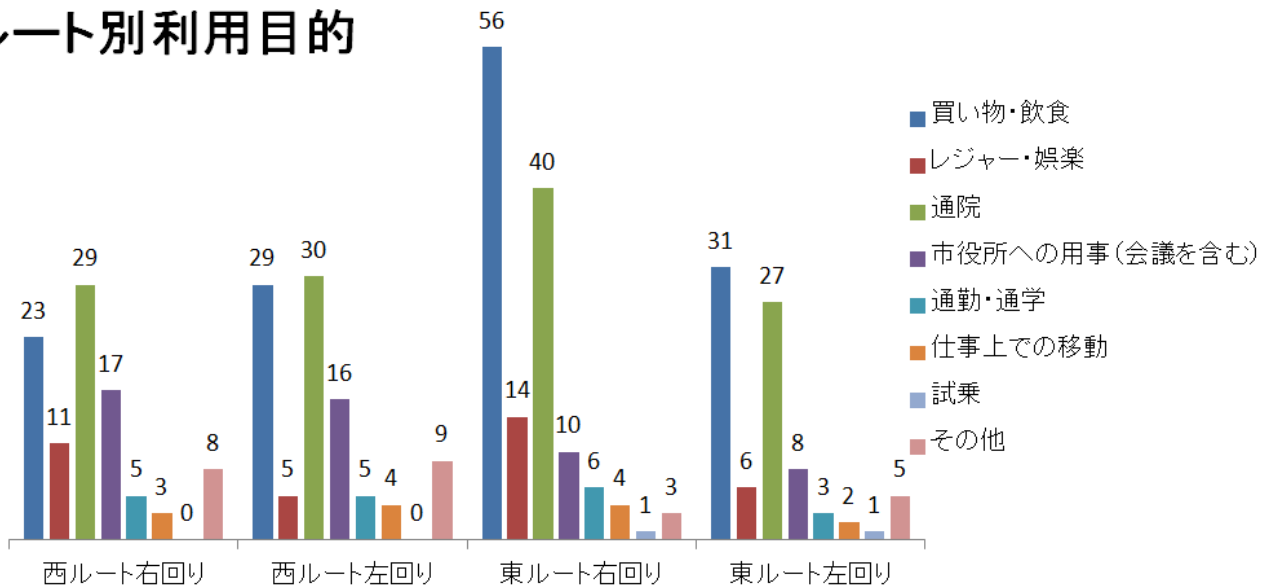
・自宅から停留所までの時間については、「歩いて3分以内」及び「歩いて3分～5分」がそれぞれ約3割となっており、合わせると6割を超えている。

Q. あなたが、あさぴー号を利用する目的・理由などについてお聞きします。

⑦利用する目的 (2つまで選択可)

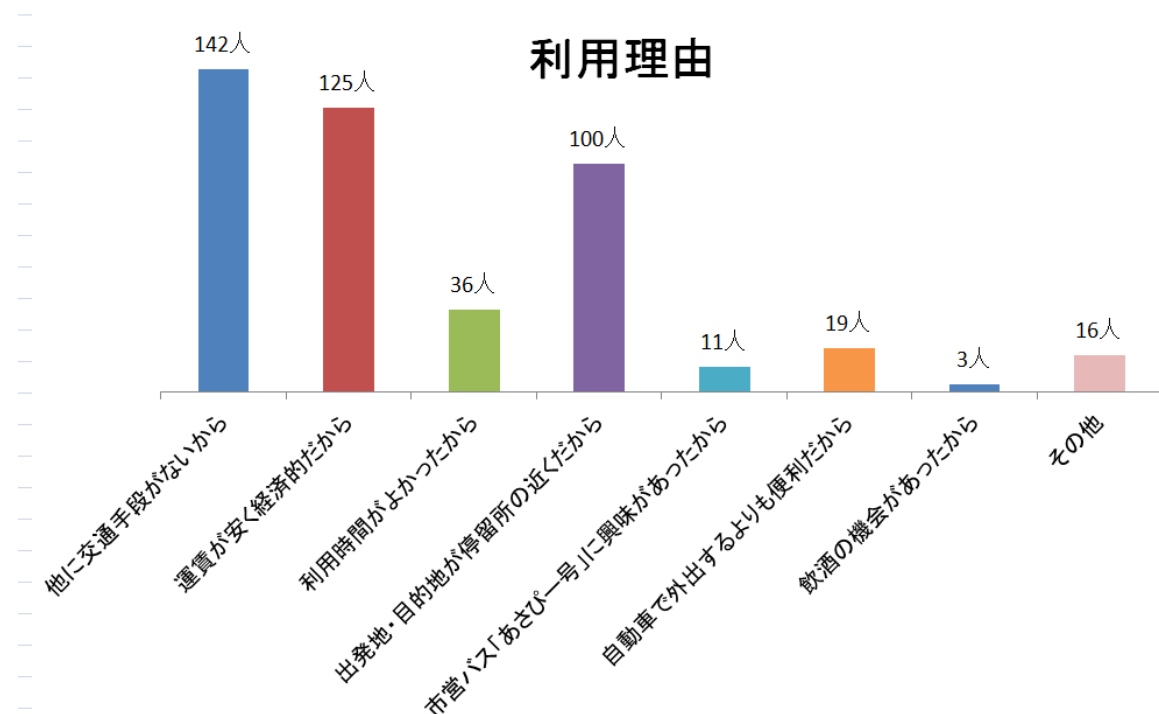


ルート別利用目的



- ・利用目的については、「買い物・飲食」及び「通院」と答えた人が3割となっている。
- ・西ルートでは「通院」が最も多く、東ルートでは「買い物・飲食」のためのバス利用が最も多かった。

⑧利用する理由（2つまで選択可）

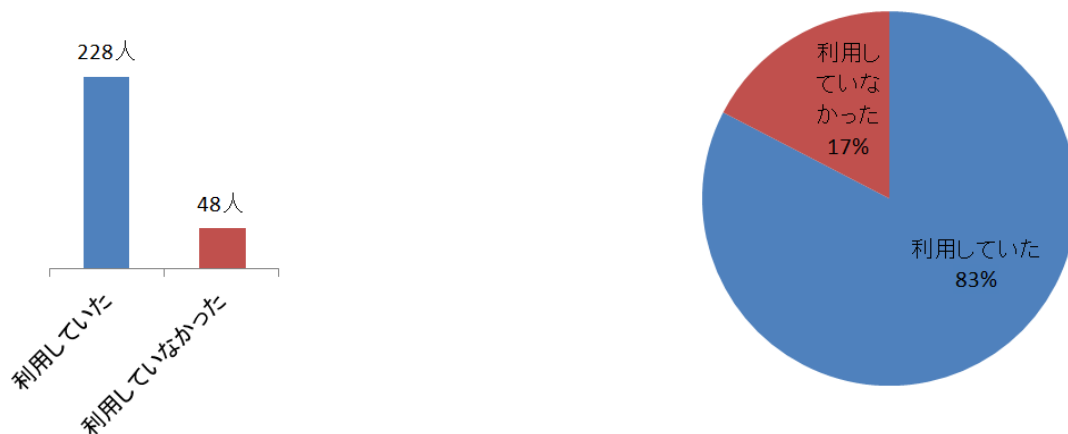


- ・利用理由は、「他に交通手段がないから」、「運賃が安く経済的だから」、「出発地・目的地が停留所の近くだから」と答えた人が特に多かった。
- ・一方で、「自動車以外出するよりも便利だから」などの答えは少なかった。

Q.平成28年4月1日の運行内容変更についてお聞きします。

⑨運行内容変更前からの利用

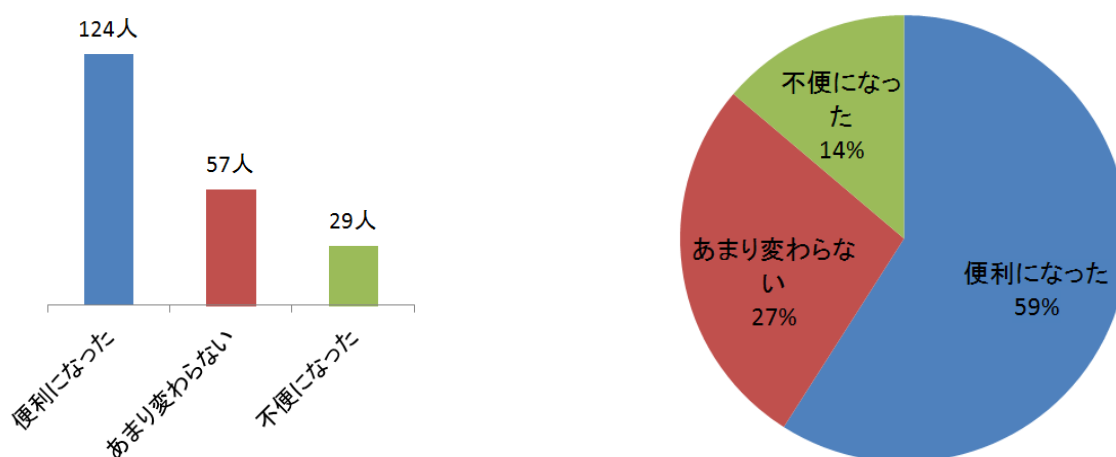
運行内容変更前からあさび一号を



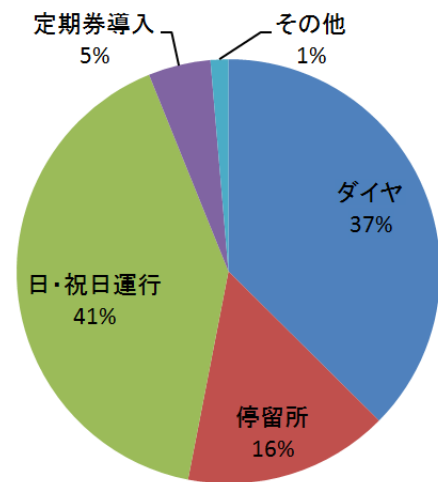
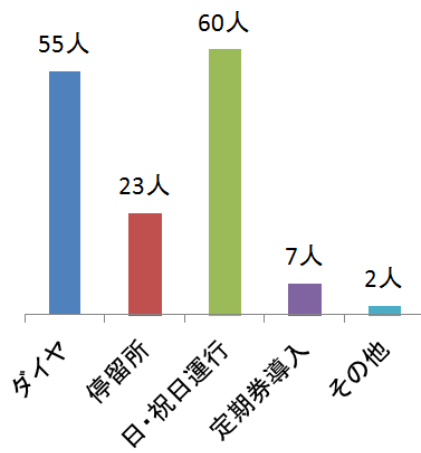
・運行内容変更前からあさび一号を「利用していた」という回答が8割を超えている。

⑩あさび一号の運行変更内容について

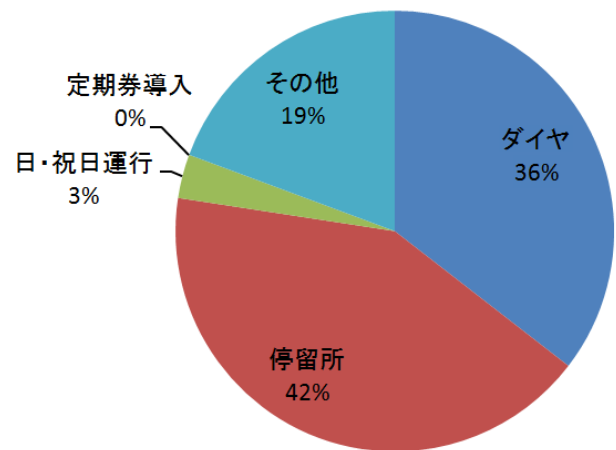
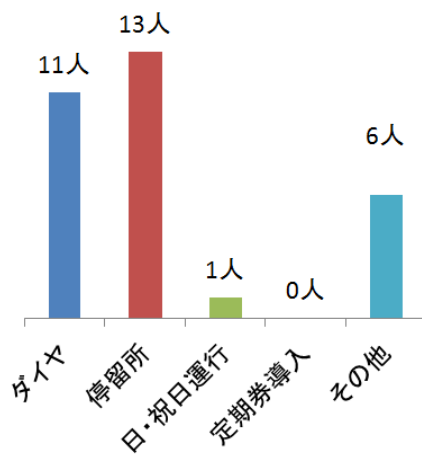
あさび一号の運行内容変更により



変更により便利になった点



変更により不便になった点

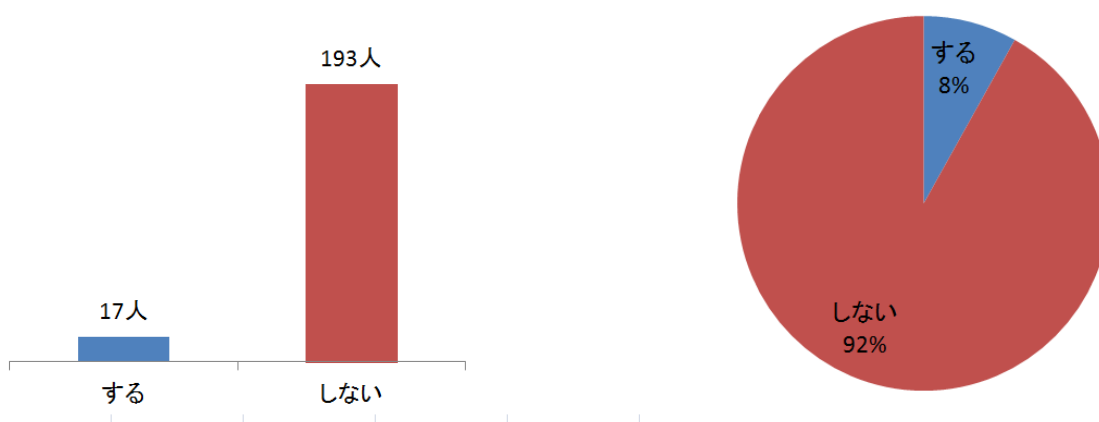


- ・ 運行内容変更により「便利になった」という回答が約6割となった。
- ・ 便利になった点として「日・祝日運行」、「ダイヤ」と答えた人が多かった。
- ・ 一方、不便になった点として「停留所」「ダイヤ」と答えた人が多かった。

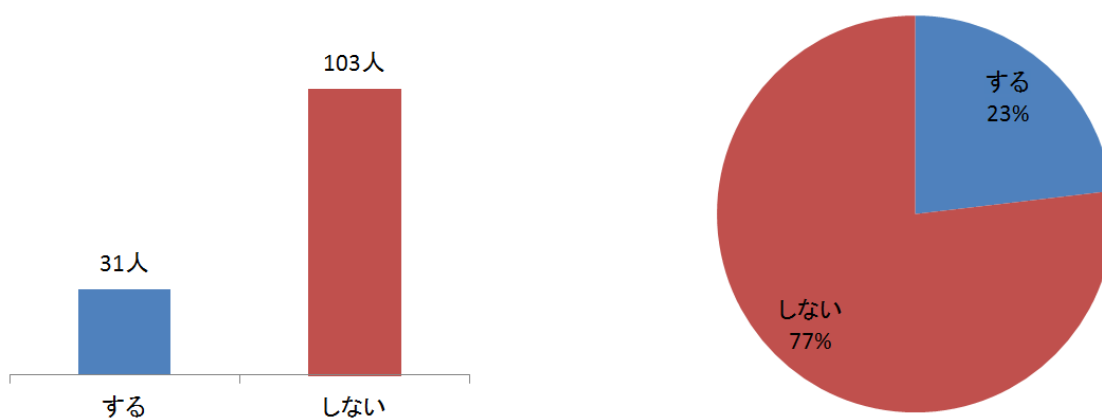
Q.あなたがどのようにあさびー号を利用しているのかお聞きします。

⑪乗降内容

降車後、他ルートへの乗り換え



他の公共交通への乗り換え

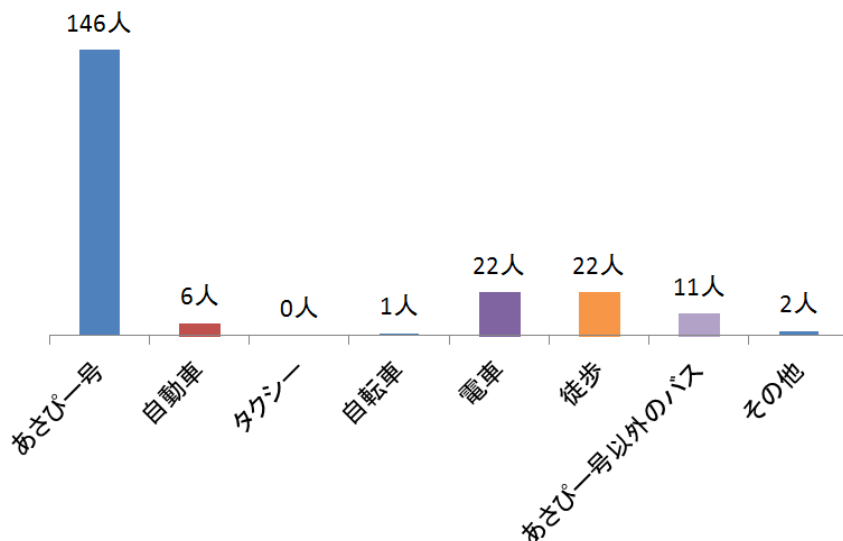


- ・「あさびー号の他ルートへの乗り換え」をしている回答者は1割に満たなかった。
- ・「他の公共交通への乗り換え」は回答者の約2割となっており、残りの8割については、あさびー号を利用して直接目的地に向かっていると考えられる。

⑬お出かけとお帰りの交通手段（それぞれ2つまで）

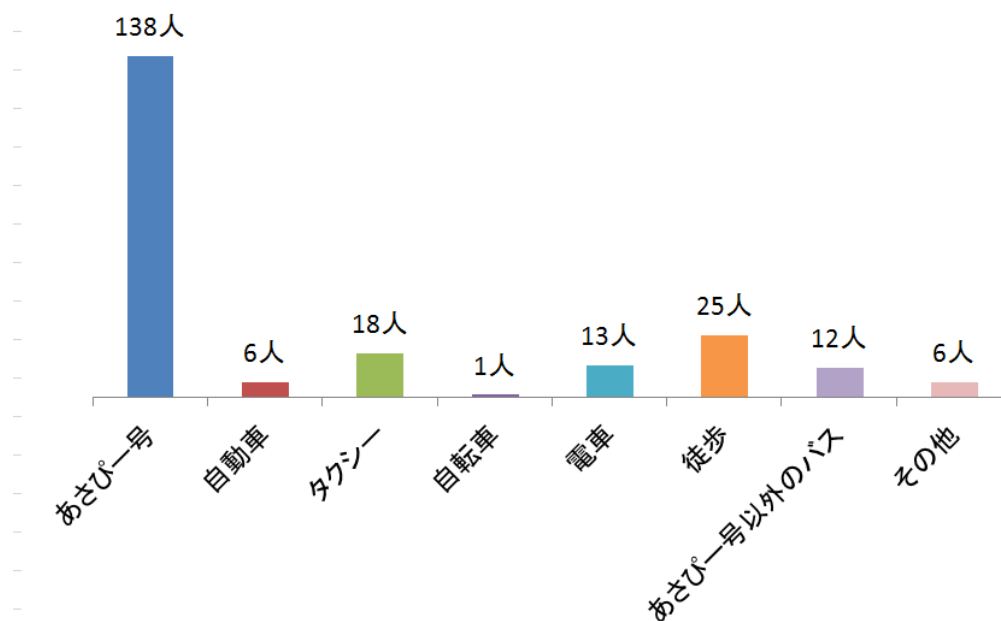
本日のお出かけの交通手段

お出かけの交通手段



本日のお帰りの交通手段

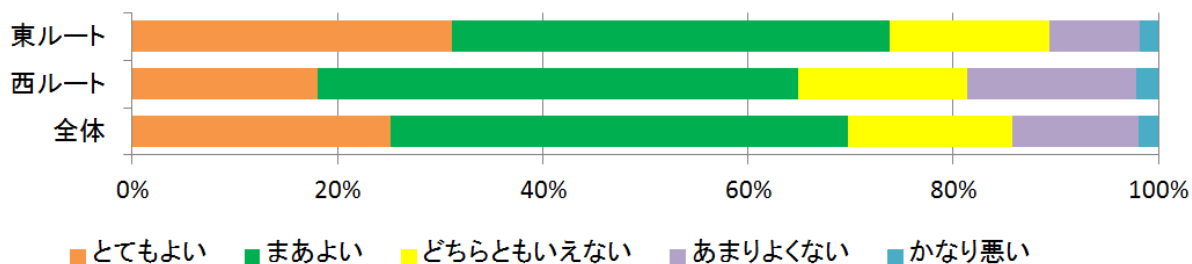
お帰りの交通手段



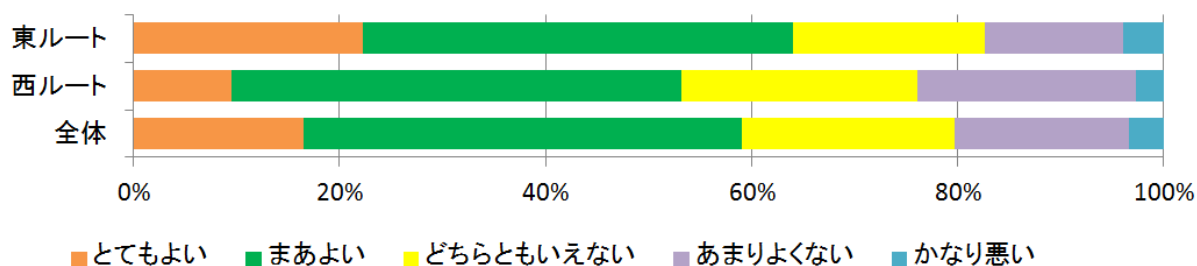
- 目的地まで「あさぴ一号」で行き、「あさぴ一号」で帰る人が非常に多かった。
- 目的地への行き帰りの交通手段には大きな変化はないが、行きに「あさぴ一号」を利用して、帰りは「タクシー」や「徒歩」という人が見受けられる。

Q. 市営バスの運行の内容について項目ごとに5段階評価でお答えください。

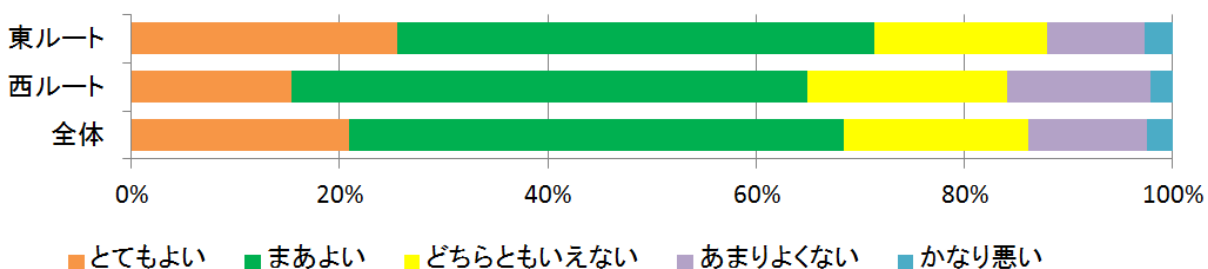
a 運行ルート



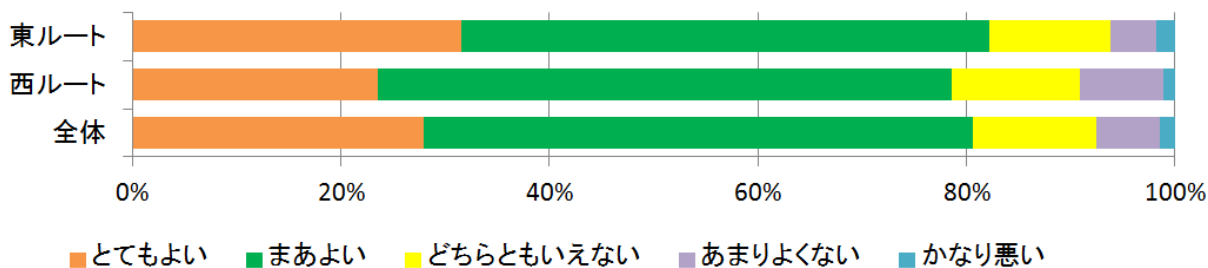
b 運行時間帯



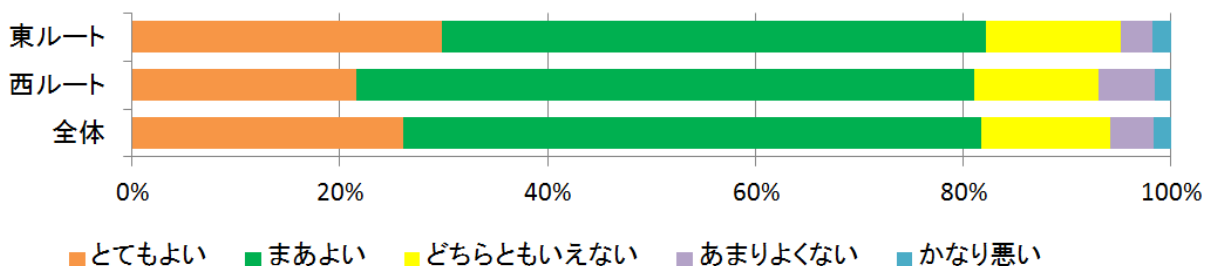
c 運行ダイヤ



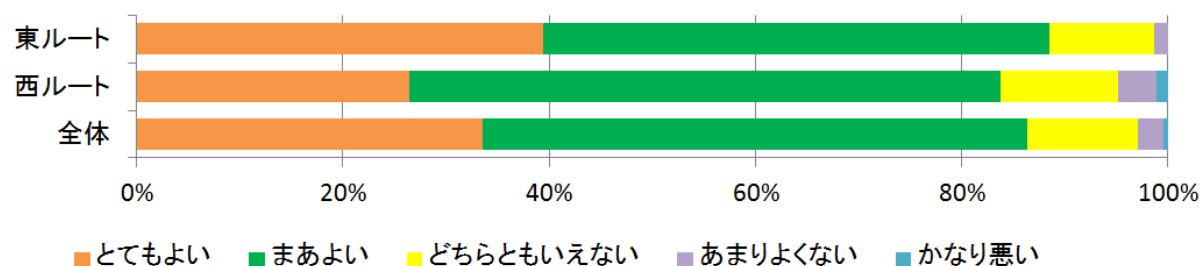
d 乗り心地



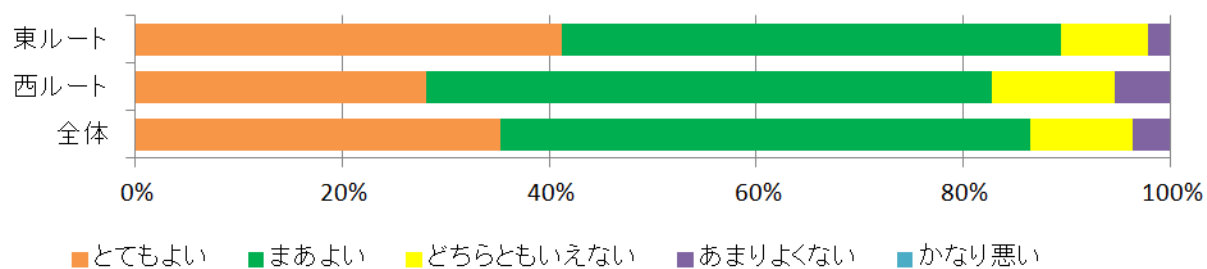
e 停留所の位置



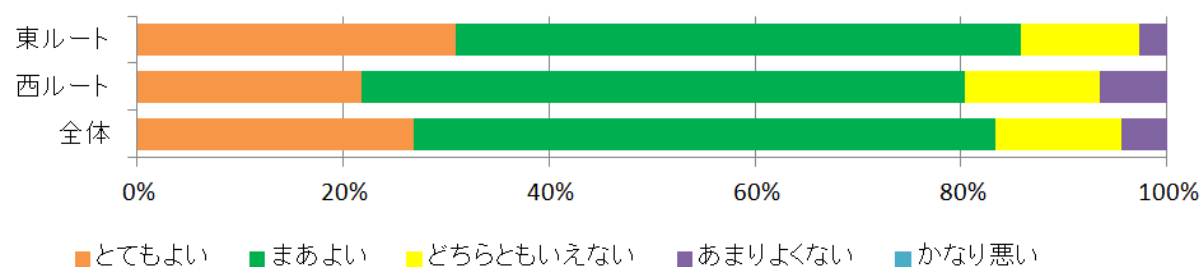
f 停留所の間隔



g 運転手の対応



h 全体



- ・「運行ダイヤ」と「運行時間帯」以外は「とてもよい」「まあよい」を合わせると昨年度同様7割を超えている。
- ・「運転手の対応」については、昨年度同様に全体で約9割となっている。
- ・「運行時間帯」は「とてもよい」「まあよい」を合わせると昨年度と比べ1割増加し6割を超えている。
- ・「運行ダイヤ」は、昨年と比べ「とてもよい」が大幅に増加し2割を超えている。また、昨年度4割を超えていた「あまりよくない」「かなり悪い」の回答が減少し2割に満たない割合となった。
- ・どの結果も昨年度より「とてもよい」「まあよい」を合わせた割合が増加した。

2 まとめ

○ 利用者の特徴

利用者は、「60歳」以上、「女性」の利用が約7割であった。

職業については、「主婦（夫）」または「無職」の方がほとんどであった。

自ら運転できる交通手段を「持たない」と答えた方が昨年度より増加した。また、利用頻度も「ほとんど毎日」、「週3～4回程度」と答えた方が増加していることから、あさび一号が公共交通として認知されていると考えられる。

利用理由は、「他に交通手段がないから」、「出発地・目的地が停留所の近くだから」、「運賃が安く経済的だから」を多くの方が答えており、その利用目的は「通院」、「買い物・飲食」が多いこと、またお出かけとお帰りの交通手段はともに「あさび一号」が多いことから、主に高齢の方々の日常生活における「足」として、あさび一号は利用がされているといえる。

また、昨年度の結果と比較すると、運行内容変更により、「運行ダイヤ」及び「運行時間帯」に関する評価について改善が見られた。